京城日報

發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話長六千九番 長二千九番 振替京城三〇〇番

簡易生命保險事業の現在と將來

遞信大臣　野田卯太郎

簡易生命保險は創始以來非常な盛況を以て發展し、昨年の始めに於ては百九十九萬件一億九千八百萬圓であつたが、一昨年の夏以來今日迄の財界不況もこの事業に對しては殆ど何等の影響を與へない許りでなく、[illegible]ると云ふ從來に見ざる好成績を示してゐるのである。これは種々なる原因があるに違ひないが、財界の沈滯不況が多數國民の心を緊張せしめて好況時代よりも一層將來に對する準備の念に一すべからざるを痛感したことが、その一因を爲してゐるものと考へらる。そして昨年十一月末に於ては二百八十五萬件二億九千九百萬圓に達してゐるのである。この良好な成績は社會の實際の爲め寔に慶ぶべき現象である。

一面に於て簡易保險に依つて集積された資金は是亦年と共に增加し、昨年度に於て運用資金の內七百萬圓は住宅、職業食堂、公設市場其他貧民用品廉價供給事業、職業紹介所、公設質屋、公設託兒所、小學校病院、傳染病舍等の社會政策的事業に貸し付けられ、斯業の本來の趣旨を着々行しつてゐるのである。

斯の如く我邦の簡易保險は非常に[illegible]して好成績ではあるが、之れを外國の成績に比較すれば勿論歷史の長短も考慮しなければならない。人口千人當り英國の千三十四件、米國の五百十八件獨逸の百八十七件を我國の人口千人當り五十件に比較すれば、尚甚だしい遜色があるのであるから、今後一層その普及發達を圖つて國民の共濟施設としての實を發揮しなければならないのである。

終りに一言申述べて置きたいのは保險は單り簡易保險許りでなく、凡ての保險制度は云ふ迄もなく、一種の共濟制度であつて、財貨の交換を目的とする普通の營利行爲に比して特色を有つてゐることである。即ち團體員の災厄、不幸を共同の出捐に依つて救はんとするのであるからして、決して單純なる取引と同一視することは出來ない。即ち保險業者の手を通じて相互共濟を行ふのであつて、保險業者は共濟組織の仲介者であり、世話人である。職員は被保險者のものである。從つて職員たる被保險者各自に於て之が發達改良を期せねばならぬ責務があり、世話人たる保險業者は右の自覺を被保險者に有せしめて、組織の完全なる發達を遂げしむる任務があるのではあるまいか。

此點に就て現在保險事業の管理經營方法は必ずしも遺憾なしと謂ふことが出來ない樣に思はれる。例へば米國の有力なる保險會社で實行してゐる所の保險契約者及び一般公衆に對する衞生思想の普及とか、一般公衆機關と組合とか、又は巡回看護事業とか共濟方法としての特種の共同事業をすることにより事業の實際の働きをすることであつて、本旨が徹底せられるのであつて、將來此の方面に付きても大に考慮を拂ひ、實行に努めなければならぬと思ふ。

言論界

支那反省すべし

【時事】四國借款團が梁內閣の借款申込に應ずるは、恰も相抗爭せる政派の一方に軍資を供給することゝなるのみならず、斯かる軍閥派の私鬪の爲に國內の戰亂を繼續するは、支那國民の不幸此の上もなき次第にして、折角華府會議に於て列國が支那に期待したる所は全く裏切らるゝと共に、支那としても其獲得したる一切の利益を自ら享受すること能はざるに至るであらう。近時支那の國權ますく其信用を失ふの外なきものと共に、不安の兆あるは世界的にいよく[illegible]して、我輩は切に同國民の自働反省を警告するものである。

子福者の優待說

【讀賣】子福者優待法案を今期議會に提出する企てがあるとのこと。提出者贊成者の動機は能く解らないが我國過剩人口の處分が華府會議に關聯して、米國の問題となつた消息など、斷然して一種妙な感じがする。恐らく提出者の意思は我國人口の自然增加率が低下し、殊に出產率の遞減と死亡率の遞增を最も憂ふべきものと考へる結果であるかも知れない。然し此の立論には少し考へねばならぬ論理的誤謬がある。我國人口は米國、獨逸に次いで第二位に居る。然し出產率[illegible]各文明國を通じて[illegible]むを得ない[illegible]である。我國が今日注意すべきは多產論よりも種論である。これを妨げる唯一の敵は國民の貧乏である。即ち生活難は貧窮と教育とを互に犧牲にする。故に根本問題は國民を日常生活の危機から救ひ出すことである。新しい日本は先づ國民的積極の實行から生れねばならぬ。

奇怪な普選尚早論

【大阪朝日】政友會の今期議會に對する大體方針に依れば普選案を否決するに決したと報ぜらる。人心の不安思想の動搖は故原首相すら之を痛感し昨年初頭新年の辭に於て國民の思想を作興する要を說き今年再び高橋首相は前首相とその所感を同じうするを明言した。即ち國政の重任を擔ふ內閣總理大臣すら公然民心の動搖を認めざるを得ない程に國民思想は急激なる轉回を爲しつゝある。然るに政友會が三年前に持したる普選尚早論を固守して時勢の激變なしと斷定するは矛盾も亦甚だしい。施してこの矛盾政策を極めた普選尚早論で普選案を一擧に葬らんとする政友會こそは、軈て國民多數のために一擧にして葬らるゝ時節が來るに相違ない。

ウエルズ氏の面影（上）

東拓　ケイ、ワイ生

最近華府會議の席上より『日本の將來について』其他二三の論文をジヤパンアドバータイザー、大阪朝日等に寄せた事によつて急に我一般の人々の注意をひくやうになつたハーバート、ジョージ、ウエルズ氏の作品は、英本國に於ける氏の文名の大なる割合に我國の人々には餘り知られて居なかつた。僅に『新ユートピア』の翻譯が一寸人目にふれた位のものであつた。隨つてジョージ、ムーアやギッシング又はコンラッド等を能く知つて居る人等ですら、彼のウエルズの作品とは餘り親しまなかつた況んや外國文學に特別の趣味を持たぬ人々は今度大朝やアドバータイザーに寄せた氏の論文によつて、ジャーナリストとして氏を知つた位に過ぎないであらふと思ふ。

ウエルズ氏は千八百六十六年にイングランドのケントに生れ、同國の理科大學に入りハックスレー氏に就て學び、卒業と同時に同校の科學の教授に任ぜられたが後自ら去つて文界に身を投じた。

彼の初期の作品は千九百〇五年に物故した佛國のジユル、ベルヌと同じやふに、科學界の進步や、機械學上の發明等を題材として取扱つた科學の讀物と小說との間を往つたのであつたが、之が巧く成功して大に人氣を集める事が出來た。之等の作品中特に著名なものは、ゼ、タイムマシン（千八百九十五年）ゼ、インヴイジブル、マン（千八百九十七年）ゼ、ウオア、オブ、ゼ、ウオールド（千八百九十八年）等である。

彼は之等の著作に從事する傍ら熱心に社會主義を研究した。其の結果はアンチシペーションズ（千九百一年）マンカインド、イン、ゼ、メーキング（千九百〇三年）エ、モダーン、ユトピヤ、（千九百〇五年）ニウ、ウオールズ、フオア、オールド（千九百〇八年）等となつて現れた。之等諸編を通じて表現されて居るのは社會主義者の理想によつて美化された實在に優越せる理想鄕である。

然し千九〇九年にトノ、バンゲイを出した頃から彼の取扱ふ題材は一層廣い範圍に亘つて來た。彼は英國の社會各方面に於て發生しつゝある狀態を其儘に寫し出し其間に或改造的意識を示す事に努力しだした。之は明かに作風の一轉期であつて、千九百〇九年以後の作品は第二期に屬するものと云ふ事が出來やう。

一日一人

侯爵　德川圀順氏（明治十九年生）侯は有名なる水戸黄門德川光圀卿の末裔で、父は德川篤敬と云ふた。侯は其長男で、明治三十一年家督を相續して襲爵を仰せ付けられた。即ち舊水戸藩主である。侯は夙に身を陸軍に投じ現に陸軍中尉の職に在る。且つ侯は日本赤十字社副社長として、且つ又貴族院議員として、議席を有し、無所屬派に屬して居るのである。

別天地

東京より　目黒行人

◎高橋首相は、十二日夜永田町官邸に於る華族會員招待席上の挨拶に（ペンは劍よりも强し）の語を引いて諸君の公平なる批判による御後援の下に自己の抱負を實現して行き度いと述べた。併し此語を引いたのは相手がペンの人だから之を持ち上げんとの心からではなく、世界大戰が一次劍からペンに移らんとしてあるのを看取し、今後倍々文化政策を執らんとする決意あることを仄めかしたものだと吾人は信ずる。

◎世界平和の確立、世界文化の進展と云ふやうな語は最近原內閣の動靜や、新政府の令旨などにも見ゆるところで、我邦の外交內政に於けるモットーであらねばならぬ。然るに從來我政府の執り來れる實際上の政策、殊に施設經營は滯遲ながら斯の基調を裏切るが如き觀がないでもなかつた。年々の豫算を一瞥すれば其所に爭ふべからざる痕跡があつた。今後高橋首相の下に文化的平和的な政策が益々倍々伸張せんことを吾人に期待する。

◎四國協約が出來ても、海軍縮小が實現されても、世界の恒久平和が直ちに成立つものでは無論無い。大なり小なり軍備の存ずる間は夫れによつて維持さるゝ平和は武裝的である。勢力の均衡による一時の安寧である假の秩序である。また假令縮限軍備が全廢されても或種の禍心を挾まない國民の存する以上は地上の平和は容易に來るものではない。だから萬一の備へは決して忘れる譯にはゆかない。尚武心の鼓吹は今後も無論必要であらう。併し時と場合とを考へ本と末とを取違へないだけの思慮はあつてほしい。

◎萬一の備へは萬一の備へに過ぎない。平常の備へではない。これが爲めに平常備ふべきこと、爲すべきこと、勵むべきこと、勵むべきことを忘れてはならぬ。凡そ物には大小がある。本末がある。緩急がある。總ては之を顚倒するところに暗すのである。子供に雨傘を買つてやると無闇に雨の降るを希望する。雨が降らなければ傘を水へ浸けて喜ぶ。此心理が恐ろしいところである。

◎併し平和と云ひ文化と云ふのは決して遊樂や遊興のことではない。自墮落な、放縱な、無節制な、怠慢な生活を指すのではない。飽までも人格の自由な活動發展を圖り、新しい意識ある或る物を創造し行く生活であらねばならぬ。吾人は軍備によつて主張され保護さるゝに足るだけの價値と內容とを有する或物を持たなければならぬ。武力上の征服者が、被征服者の文化によつて征服された例は史上にいくらもある。

職業　熟練三圓位　[illegible]　大阪北區　豐國總本店

エビンルードモーター
舟艇用取外し自在
漁船和船に適す
二馬力三、半馬力二種
外に　米國製　□船用六馬力以上發動機各種　□移動式材木切斷機械
（各型錄郵券二錢要ス）□自家用、船用、灌漑機械十馬力五十錢以內
エビンルード　ガソリンポンプ　消火灌漑用
東洋總代理店　東京市京橋區南傳馬町三丁目　直輸入商　電話京橋四二一二番
日之出商會

今や雄辯の時代也　青年奮起の時代也
青年雄辯　速成會員募集
演說の上達を望む人は來れ
[illegible]

娯樂世界二月号
諸國怪談奇談ぞろひ
白木屋騷動 證據の寶（圓玉）
奇聞 美人の蘇生（伯知）
國定忠治 赤城の山籠（金馬）
寬永奇聞 切支丹情話（燕國）
怪談 十番の幽靈
大岡政談 熊谷の化け地藏
伊達騷動 動亂の悲劇
落語 遊女買ひ
英國探偵談 惡魔の死
奧州奇談 女夫ヶ淵の怪
寬永御前試合 鎖鎌の名人
怪談 石投げ供養
秋雨夜話 三つの人形
寫眞小說 別天地
怪談 妾宅の幽靈
怪談 洗濯屋夫婦
英國奇談 濱邊の高浪
繪解小說 野古村の家
土人形
家庭實話 信濃川の流
歷史小說 幻御殿
米國小說 紐育市の虎
長篇小說 姫白蝶
家庭小說 辰巳染
發行所 東京日本橋區通四丁目 娯樂世界社

主婦之友 二月一日號
夫婦問題號

愛讀者へ急告 『主婦之友』は月二回發行に改めて以來讀者激增のため每號發行後間もなく賣切れとなり皆樣に御迷惑を及ぼすことを恐縮に存じます。何卒至急にお求めの程を願ひます。

良人を愛し得ぬ妻の告白
（夫婦生活に於て最も悲痛なことはお互に愛し得ぬことであります。[illegible]）
◇亡き戀人を追慕のために良人の愛に反抗せねばならぬ私の苦衷―（のぶ子）
◇金のために廿も年上の良人に嫁して愛の悶えに泣く私の告白―（はな子）
◇悲觀と絶望の末に自殺せんとしたる愛し得ぬ妻の悲しい告白―（野梨子）
◇愛されながらも良人を愛し得ぬ十年間の悲しい結婚生活―（深雪子）

鎌倉の山で自殺した女子大學生（和田博士の令孃みや子）
（前九州帝國大學の講師和田工學博士の令孃で、日本女子大學生であつたみや子は、[illegible]）
◇青年男女の戀愛關係と其の責任（みや子問題に就いて男子の無責任を痛論）―安部磯雄
◇社會に何故温い同情心が無いか（世間が冷酷なるから自殺者が多い）―有島武郎
◇夫婦和合の新しい秘訣―谷本博士
◇夫婦問題の性的研究―杉田博士

私は何故に結婚しないか
獨身者として有名なる方々の獨身理由の發表
◇自然の成行の儘に―女子學習院 三谷民子
◇不幸な境遇の爲め―代議士 正木照藏
◇意味ある奉仕に―女子青年 河合道子
◇藝術の中に生きむ―山脇女學校 稚塚蒸華
◇一言に言へば運命―畫家 藤井達吉
◇職業上の都合で―帝劇女優 村田嘉久子
◇多くを言ひたくない―洋畫家 埴原久和代
◇家庭的にも私は幸福―帝劇女優 森律子
◇放縱な兄の爲めに―萬朝報記者 服部桂子
―以上九人の方の種々なる獨身理由を御覽下さい―

◇俸給生活者の家計實況
◇娼妓から苦學して產婆になつた婦人
◇肺病は如何に養生すべきか―原榮博士
◇濕布と吸入の一番有效な仕方―宇都野院長
◇地震の原因と地震の時の心得―國富技師
◇素人にもわかる西洋樂譜の話―田邊尙雄
◇生活の要件としての火災保險―波多野承彥
◇帝大學生の一年間の學費報告―M・M生
◇婦人持ちの新形紙入の作り方―藤井達吉
◇和洋兩用の新形の子供マント―吉田壽代
◇（小品）霜の夜―野口雨情
◇（童話）赤い自動車―德永壽美子
◇家庭法律問答　◇家庭衞生問答　◇美容理裝問答

近藤浩一路 世界漫画紀行
天下一品の稱ある漫畫家近藤浩一路氏は、一月中旬を以ていよく世界漫畫紀行の途に上りました。その漫畫紀行は『異國膝栗毛』と題して、すべてこれを『主婦之友』誌上に連續掲載されることになり、その洋行下稽古から順次誌上に發表して、今や沸くが如き好評を博してゐます。凡て諧を愛し文を愛する士の見のがすべからざる好見物好讀物であります。どうぞ至急に御覽ください。

長篇小說 破船（久米正雄）一たび發表して以來、忽ち文壇の問題となつた久米氏の自敍小說であります。本號は文豪漱石の死を描いた深刻悲痛の場面です。
海外小說 嘆ける曙（三上於菟吉）青年男女の純潔にして、しかも熱烈纏綿たる戀を描いた名作を意譯したもので、特に若き男女の愛讀を乞はざるもの。
諧謔小說 ぐうたら道中記（佐々木邦）最も上品なる諧謔小說で、大人が讀んでも子供が讀んでも笑はずには居られぬ面白い讀物。
懸賞小說 過ぎ行くもの（湯淺賢吉）本誌の懸賞募集に當選した小說で若き男女の純眞なる戀愛を描いた面白き小說であります。

定價四十錢（送料一錢五厘）豫約代金 半年（十二冊）金四圓七十錢 一年（廿四冊）金九圓二十錢
東京神田表神保町 振替三三七八六番 主婦之友社

京城日報

本社主催視察團に對する 臺灣官民の厚意

本社主催の臺灣視察團は本月三日南大門驛を發して以來十有五日間の旅程を無事に經過し十七日午後七時五十分京城に歸着した。一行は朝鮮から臺灣島内の實狀を視察して其山川風物に別天地の觀あるに感興を催したが、到る處に臺灣官民の熱誠なる厚遇を受けて豫期以上の有效なる視察を遂げたことは一行の感謝に堪へざる所である。

七日朝基隆に着すると基隆廳長、警察署長、總督府土木出張所長等先づ香港丸に來迎せられ、直に基隆ランチに一行を搭載して港内を視察せしめ、公館に導て廳長より茶菓を供せられ、基隆驛には官民多數の送迎あり、總督府殖産局は特に屬官を派して一行臺灣視察中の東道の任に當らしめた。臺北驛には州知事始め州の高等官、臺北市長代理、臺灣日日新報社長等官民數百名の來迎あり一行は其待遇の鄭重なるに驚き旅裝のはしたなさを愧づる者もあつた。

事情不案内の爲め視察の場所順序等の豫定表製成は州廳に御一任して置いたのであるが、殖産局と州廳との協議で立派な日程が出來上つてゐた。殖産局から一行に附せられた案内の外に市役所からは島田屬が臺北驛中同行して萬事を斡旋せられた。視察の場所々々には前以て一行の人數も時間も通知してあつて其處に到着すると接待の人が玄關に待ち構へてゐて直に應接間に案内して茶菓を供し一通り口頭で説明して實地を案内せられる。到る處皆此通りで視察は極めて順序好くスルくと氷の上でも滑るやうに運んだ。今視察の箇所を一々詳記することは出來ぬけれども何れの箇所でも同樣に厚遇を受けたことを茲に特記する。七日の晩は日米商會支店から一行を招待せられて鄭重な饗應があつた。本社員三名は實業之臺灣社から北投温泉に歡迎を受けた。

九日一行が高雄に着したのは午前六時四十分であつた。此早朝に高雄州知事内務部長勸業課長各課長お揃ひでの出迎ひである。州役所も郡役所も總出である、朝食も旅館で御馳走の招待であつた。人車も州からの招待であつた。築港は土木局のランチで出張所長の案内で觀察した。貯水池事務所の丘上で休憩中には東洋新報社から茶菓を供せられた。屏東の臺灣製糖會社では晝食と共に臺灣獨一の珍果木瓜を供せられた。屏東から引き返して高雄で北行の汽車を待つ僅か二十九分の時間を利用して驛前のホテルで歡迎會が開かれた。富島知事から『友あり遠方より來る亦樂しからずや』との温情濃かな歡迎の辭があつて、お土産に名物のカラスミを多量に贈られた。

管々しいから省略するが臺南での送迎も臺北や高雄と全く同一であつた。人車は市役所から提供せられ夜は公館で歡迎會があつて吉岡知事を筆頭に官民紳士の顏揃ひであつた。新化の糖業試驗場でも親切な待遇に預つた。

嘉義は官制更改の結果、州廳は設置せられずして郡役所と街役場とのみであるけれども、高官が居らぬといふだけで接待振は少しも見劣りはしなかつた。人車も提供せられ盛んな歡迎會も公館で催された、數名の人々は日本製糖から特別の招待を受けた。

臺中での歡迎も甲乙はなかつた。公館内の視察を氣持よく終つた。公館内での茶食の招待には州廳から市役所から、自動車四臺を提供せられ短時間に多くの視察を遂げた。臺灣新聞社からも特別の招待を受けた。

歸りに臺北で視察した臺灣電力會社、臺灣銀行、專賣局、臺北の醫學校でも悉く歡待に預かつた。臺北での歡迎會は臺灣代表的の人物百餘名を主人とした熱情の籠つた宴會であつた。總督府の高官は總督と總務長官とを除くの外、悉く列席せられ、總督府からも州廳からも市役所からも、學校からも會社銀行からも、州協議員、市協議員、町委員も參加せられた。歡迎は勿論個々の視察團員に對してではなく、臺灣が朝鮮を歡迎するといふ濃厚な意味を含んでゐた。

本社が視察團を組織して出發したのは、正月の比較的閑散な時期を利用して、帝國新領土の先驅たる臺灣を視察して後驅たる朝鮮の參考に供したい希望に出でたのであるが、何分にも急の思ひ附きで準備は甚だ不十分であつた。殊に該地の事情に通ずる者は一人も社内にゐないので萬事を擧げて臺灣總督府の殖産局と各州廳とに御依頼した。官廳の深い厚い親切は申すまでもないが、民間諸氏の熱情は實に驚く許りであつた。之を一句に譬ふれば新郎が新婦を迎ふるが如き情が現れてゐた。一行は感激してこんな事は一生に再びはあるまいと互に耳語しあつたのである。實際之を内地の事にして見ると國務大臣の御通行に對すると同樣な歡迎に類するものであつた。地方の歡迎に對する計畫は至つて不行屆であつたにも拘らず十二分の成功を收めて面目を施したのみならず、朝鮮に對しても本社は實に面目を施すことが出來た。朝鮮に於ける一新聞社が計畫した視察團の成功を感謝するのみでは今回の臺灣官民の厚遇に對して不謝である。視察團一行が朝鮮一千六百萬民衆の代表として臺灣の官民から受けた厚遇に對し、茲に朝鮮全道の民衆を代表して臺灣三百六十萬の官民に濃厚なる感謝の辭を捧呈する。

海軍協約案略完成 十六日九國委員會開會

【華盛頓電報】海軍協約案は日本委員が本國政府より最後の訓令を得たる上決定すべき若干の條項を除きたる外全部完成したり一方十六日再び極東問題を審議すべき九國委員會開會さるべしと

廿一個條問題延期 米國全權の陳述

【華盛頓電報】極東委員會は山東問題の解決する迄二十一ケ條問題及支那の關外に於ける勢力範圍問題の審議を延期するに決したり曩に同委員會は支那の關税五分案を可決し門戸開放政策の討議を開始したり米國全權ヒューズ氏は米國の政策を概説し支那の門戸開放を維持するには各國の勢力範圍を撤廢するが最も緊要なりと陳べたり

我反對に支那反問す 二十一ケ條撤廢問題

【華盛頓電報】支那委員は何故二十一ケ條を撤廢する事に日本は反對するか其の理由を聞きたしと主張し居れり英米は山東問題解決に就ては有耶無耶なりとの意向を有し西伯利亞問題には多分手を觸れずして濟むならんとなされ居れり

支那借款鐵道聲明

【北京電報】支那政府は山東鐵道を日本の借款鐵道とする事に決定し梁總理は正式に之を聲明せり

膠州草案正式承認

【華盛頓電報】日支兩國全權は十四日成立したる膠州灣租借地に關する草案を正式に承認せり

廢艦航空母艦に改造

【東京電報】華盛頓會議の海軍協定に從ひ廢艦となるべき軍艦は今後其一部を航空母艦に改造する事を承認せられたりと報じ又全部破棄する事となせりと傳へらるゝが未だ當局には確報なきも改造許容を事實とせば目下建造中にして削除せられたる軍艦を改造して航空母艦とするにつき我國に於ては現に横須賀に於て建造中の天城(四萬一千噸)及呉にて建造中の赤城(四萬一千噸)も多分航空母艦に改造せらるべしと觀測せらる

愛蘭假政府組織準備

【ダブリン電報】シンフェン黨議會は假大統領デヴァレラ氏の一派出席の上英愛條約を批准し假政府の組織に著手しグリフイス氏首相として留任する事を拒絶しコリンス氏首相たるならん

英佛首相決議商議

【巴里電報】佛國首相ポアンカレー氏は十四日英首相ロイドジョーヂ氏と會見し前首相ブリアン氏辭職後最高會議を通過したる諸決議につき商議したり

英佛折衝開始せらる 東歐問題意見一致す

【巴里電報】英佛外交の折衝は開始せられ居り英國外相カーゾン卿は佛首相ポアンカレー氏ははじめて政策たる態度を以て英佛間の問題殊に東歐問題に就て討議し東歐問題の解決は之を穩當延期すべきにあらずとの意見一致せり然し實解の後となれば土耳古問題に再び戰爭起るべければなり

獨代表招致と賠償

【東京電報】カンヌ會議の賠償問題委員會に獨逸財政委員を招致して賠償額を決定し之を十三日獨逸委員に手交しその結果獨逸側より意見を陳べさせるやに聞く

ゼノア會議と委員

【東京電報】去る十三日の最高會議に於て歐洲復興に關するゼノア會議を來る三月八日開會する事に決定したるは當時所報の如くなるが右會議に出席すべき各國委員の數は三人若くは五人とし會議の豫備會議は一月中巴里に又準備委員會議を倫敦に於て開くに決定したる旨其筋に報ありたり

露國へ會議招待の使

【華盛頓十五日發電】ゼノア會議に勞農露國を參加せしむるため委員は英國を出發し莫斯科に向へり

獨逸へゼノア會議正式案内

【伯林電報】カンヌ會議の決議に從ひ伊太利大使は獨逸に對し來る三月八日を以て開かるべきゼノア經濟會議に代表を派遣すべしと案内したり

外交團會議の内容

【北京電報】十七日英國大公使館にて外交團會議開催されたるが内容は哈爾賓の施政に關する協議なりと稱せらるゝも他に支那が要求せる關税擔保公債發表の件も討議したるが如く英公使は支那海軍が揚子江一帶の關税を差押へたる實情に鑑み反對の意見を出したりと觀測す

奉天直隸交戰準備

【北京電報】奉天直隸の戰は早晩避くべからざる情況に到りたれば張作霖氏は北京附近に軍隊を散在せしむるは武器收集其他に不便を感ずるを以て一先づ兵を山海關以北に引き揚ぐるに決し漸次引上げを開始せり開戰の際は從來の作戰をとる計畫なりと因に北京附近にある奉天軍は五萬なりと

日露漁業協約問題 交渉すべき責任政府なし 本年も自營出漁なすべし

【東京電報】日露漁業協約は大正九年八月を以て滿期となり更新する必要ありしも爾來露國の政情混沌たる狀態にして之を交渉する責任政府の樹立を見ずして今日に至り居れり然るに我漁業家等は既得の漁區に於て出漁し昨年より一定の漁區料を拂ひ銀行に供託し露國の漁業規則に準據し出漁し居れるが現在露國の漁業取締法は監督不行屆なるも我派遣驅逐艦が完全なる保護をなし居るためパルチザンの襲擊をも受けず相當の成績を擧げ得たるなり然るに本年度は我が政府は浦鹽政府の執行せる漁區入札に加入すべしと云ふ事に決定せる模樣なるが當業者は先年オコツク附近に於て日本漁業擯棄せられ七百萬に餘る大損害を與へられしが之が補償をもなさずして漁區の入札を執行するは責任を解せざる不德義なる處置にして尚露國官憲の漁區に對する保護は不十分にして到底現在の如きメロクロフ政權の下にありて安心して出漁する事不可能なるを以て我が當業者は一同申合せ本年も自營出漁をなすべく決したり

臨時議會 今秋開會

【東京電報】政府は華盛頓會議の經過を議會の劈頭に於て報告する筈なるが同會議は未だ全く終了せず從つて其報告も完全せざるべく故に此議會中に會議の全局を報告し能はざる時は軍備縮小の結果による大正十一年度豫算の大更正をなす必要あれば今秋の臨時議會を召集する事に内定し政友會幹部も之を承認したりと

豫算案提出

【東京電報】大正十一年度總豫算案は外二案と共に二十五日衆議院に提出し同日藏相の財政演説ある筈

定例閣議

【東京電報】十七日の閣議に於て内田外相より華盛頓會議の經過に就き報告したる後今期議會に於ける高橋首相の財政演説及外交演説につき協議ありたり財政演説は明年度豫算は極度の緊縮を主眼とし特に社會政策的經費の計上に留意せる旨を述べ又外交演説は華盛頓會議の結果を主とするも内容に於ては今尚會議中途にあるを以て其多くに觸れざる由なるが減軍問題西伯利亞問題に關しては加藤全權の聲明せる所に準じ詳細演説すべしと

上原總長辭職か

【東京電報】上原參謀總長は豫て辭意ありしが總長の健康は一時回復せし觀ありしもジョッフル元帥來朝に際し參謀總長として元帥を迎へたき希望あり日程延期したりと傳へらるゝが之が事實とすれば來る四月陸軍異動前後實現すべく後任は田中大將と下馬評高し

滿鐵事務廢會

【大連電報】早川滿鐵社長就任以來滿鐵の事務刷新を計る事とすべく計畫中なりしが今回社内各課の聯合會議及會議制度の新實施に鑑み課長會議を廢止せり

政務總監東上期

水野政務總監は伊藤秘書官を隨へ二十二日京城發東上の筈

ジョフル元帥夫人は社交界の花形

【門司電報】佛國答禮使ジョッフル元帥迎へのため同國大使館附陸軍少佐ウホルズ氏は十七日朝東京より門司に着せり【ジョッフル】元帥の一行は夫人嬢令を伴ひ外に將校二名軍醫一名記者一名で居る元帥は日本の上原元帥とは舊友である戰艦にはアドミラル、トミン艦長ナック大佐である元帥は佛國の社交界の花形となつて居る

依給不排から 驅し蘇蒙取締命令

【東京電報】過激派は蒙古に於て支那兵を驅逐して庫倫を占據し北京政府は之を大總統令を以て討伐すべく命令を發したり

十八日朝は十七度六分

水野政務總監談 教育令▽地税▽治山事業▽鑛業所移管▽議會

二十日東上の豫定であつたが都合上二十二日に延期した、然し議會の開會が二十五日だから隨分遲れるのだが、其前迄に行ければ好い筈である。本府の提出した教育令は昨年來開催せられたる教育調査委員會の議題に於て既に再三議されて文字の修正を見た位で經過は頗る良好であつたから今一度も委員會に附されたら豫定通りの運びとなるかと思つてゐる。例の共學問題なども最早議論の餘地なく一般に是認されてゐるやうだ。勿論小學校程度から共學を實施すると云ふ事は理想として何人も異論はないが何うしても現在の狀勢から推すと兩國語を解する程度以上でないと實施しても難い所でないと折角實施しても效果がない。地税の三割增(三百六十萬圓)を計畫したのは餘程前からの事であつて覺悟の上なので之が豫定通りに行くには何等の支障もないと思ふ。へても本年度に必要なる事業を遂行して行くには是非とも之れ位の金は要るのである。治山事業は外七ケ川の流域に於ける荒廢山野四十萬町歩の治山事業は先づ其二分の一町歩たる二十三萬町歩を完成する

陸軍縮小と當局態度 當分は現狀維持

陸軍當局に於ても之が對應策を講じつゝある模樣なるが聞く所に依れば當局は其の兵力を現狀の儘維持するの止むを得ざる狀況にありと云ふ蓋し國際聯盟軍事委員會及び華府會議の結果は國際聯盟の協議成りて我國に於ても陸軍縮小問題に就ても當局としても國際の形勢に察して相當の考慮をなすべきは勿論なるも現に世界の陸軍は縮小の模樣あらず却つて擴張の機運あり殊に極東の情勢は陸軍縮小の時機に非ずとして當分は現狀維持の方針なりと云ふ

軍司令官消息

大庭軍司令官は十八日朝釜山上陸直に東萊温泉に赴き蓬萊館に入り一泊十九日午前十時釜山發列車にて東上するに決定せり

水道移管申請

京城府にては十六日の府協議會の決議に基き水道移管に關し十八日を以て申請書を提出せり

南鮮北方を巡視し二十七日頃歸城の豫定なりと【釜山特電】

平壤鑛業所の移管問題

海軍側の要求であつて勿論非難すべき點のある筈がない、然し所管が移つたにしても嫌炭は從來通り一般に販賣をなすのであつて嫌炭不足を云々の問題も起るまい。

郵便課長會議

二十日より開催せらるべき各郵便局郵便課長會議の日程は左の如し

▲二十日遞信局長訓示、本局協議案(郵便、爲替、貯金、電信)▲二十一日各局協議案(郵便、爲替、貯金、電信)一月二十三日

豫後備演習應召 至急願書提出

本年の豫後備兵役者の在鮮演習召集者數は可なり多數ある見込みにして之が願書提出期限たる一月末日は既に餘日少くなるも出願者少數なるが至急願書を提出すべしと

京城下水工事

京城府内に於ける下水溝は極めて不完全にて年々降雨期の被害莫大なるものあり大正七年より十三年迄七ケ年の繼續事業として開溝及び舊溝川の二大系統及之れに流入する重なる溝渠を改修して排水を安全ならしむるとになり居り大正七年起工以來着々工事の進捗を見十三年度に豫定通り完成する豫定なるが本工事總豫算額は百六十一萬八千圓にして内工事費百四十七萬四千圓其他十四萬四千圓なりと府當局は語れり

郵便所長組合 廳舍改善計畫

全鮮郵便所長は相呼應して郵便所長組合を組織し本年度より事務の改善を企圖し

特殊の協定を要せん 新嘉坡除外決定 小笠原島防備に關し

【華盛頓電報】日本は小笠原島を以て日本本土の一部なりと主張したるも英米は之を承認せず然れども委員中の或る者は若し米國にしてグワム島に防備を施さざるに於ては日本は小笠原島を現狀維持とするに同意すべきは一般の觀する所なりと思惟し居れり官邊よりの消息によれば日英米三國は新嘉坡を現狀維持の協定より除外するに一致したりといふ

朝鮮私鐵合同問題 資金排込難と工事難の爲め 某實業家談

朝鮮私設鐵道は我財界の好況時に創立を見たるもの殆ど十中の八九を占め一旦財界の不況となるや之等の會社は申し合せたる樣に解散若しくは資本排込に窮し豫定の如く事業を遂行し能はざるは我朝鮮開發の上より云ふも誠に遺憾とする處にして一部人士の間には私鐵合同の得策なるを説くもの少からざる模樣なるが此の合同説は誠に結構なる話にして總督府の意中も恐らく茲にあるべく余も之に贊成せり、此に私鐵の使命及其の目的より論ずる時は各私鐵會社にして完全なる工事開通を見れば夫れに越したることなき現在の如き各社の狀態にては資本排込難と工事進行難に襲はれ各社共困却しつゝあり而して朝鮮私鐵の總資本金は一億萬圓に達し居れるが排込は僅に二三千萬圓位のものにして誠に心細き次第なるが中には總督府補給金を唯一の看板となせるものさへ無きにあらず目下開通せるものは東も角然らざるものは之を合同して一社となし以て事業の進捗を計るは我が財界の爲めにも朝鮮開發の爲めにも最も得策なるべし云々

青島方面電信

青島方面の電信は十七日來不通なるが官報及至急報に限り大連經由の無線電信を利用して連絡を保ちつゝあり其他は奉天より郵送にて連絡を圖り居れりと

人事消息

▲江口總督府監察官 十九日咸鏡南道へ行政事務監察の爲出張

▲木京電務 總會出席の爲二十日朝同上

東西南北

▲露國外債承認か モスコーからの電報によるとカメニフ氏は合同通信特派員と會見し、露國政府は聯合國が勞農政府を承認すればケレンスキー首相及帝政時代の外債支拂に關する聯合國の要求を容認し將來外人及外國會社の利益を承認すると言明したと

▲赤白兩軍の決戰 目下白軍はハバロフスクに本據を置き烏蘇里沿線州の境界に沿つて防禦線を張り赤軍は北部山地を大迂廻してハバロフスクに向つたから何れ近々の中大激戰がある

華府だより 華府特約員 土肥常温

華盛頓會議の結果物とも見るべき四ケ國の太平洋條約は十三日午前十時國務省に於て各國全權によりて調印された。此日夜來の驟雪は穩かな華府の街を半白にしてゐた、午前十一時に調印との事で國務省二階の長い廊下には數十名の英米の記者連が押掛けて何かと見てゐる、勿論調印は公開はしない。

十時四十分にエレベーターから從僕一名を伴れて徳川公爵が現れた、シルクハットを頂き丸い肥つた身體を外套にくるんで背の高い新聞記者連の中を輕く會釋しながら從容として控室へと案内されて行つた、同じエレベーターで英國大使ゲデス氏が現れる細面の瘦い長い顏の偉大な體でヅシりくと之も控室へと入る。長身白髮のバルフアア卿がヴイヴイアニ氏や加藤、幣原兩全權等は皆續々とエレベーターの入口が開く度に現れる狀は一幅の活畫である。日本全權は何れもシルクハットにモーニングの禮裝である。十一時二三分過ぎに何れも控室の直隣の外交官接待所に案内されて行つた此の室で調印が行はれるのであるサーデくもない室で單に中央にテーブルが置かれてあるに過ぎない。幣原全權は病氣を押して出席した爲の聲は強く鎖されて内部は見る事は出來ぬ。調印はアルフアベット順に先づ十一時十二分に米國全權の手によりて始まり佛英全權を經て伊日の順序で行はれたのである。

正午に十五、六分前調印して室から各全權はドヤくと現はれ何れも同じエレベーター口から降りた、並び居る記者連に今度は誰と誰が何等の儀式もない、サッサと署名に使つたペンは別に記念品を使つたのでもなく各自持ち合せのものを使ひ或は備へ付けのペンを使用したものもある。かくて歴史的の條約は極めて無造作に成立したのである。

眠れるハルビン 晝夜兩面觀 田邊椋鳥

(二)

私が哈爾賓を訪問したとき、多大なる興味と期待とを以て最初に觸れやうと思つたのは在留日本人の生活狀態であつた、けれども現實に目撃した同胞の生活狀態は立派に私の期待を裏切つて一味の淋しさを感ぜしめずには置かなかつた、私をして失望の嘆を漏らしめ私をして眠れるハルビンの感を深からしめたのも實に茲にあり見てさしつかへ無い、彼等の生活狀態は之を一言に盡せば行き當りばつたり……寒しくもいちり切れない……。其日暮しの寒しさであつた。日本人が嚙る智識を得ようとするでもなければ、金を儲けて事業を企るでもなく徒にのんべんだらりんとして其日を過ごせばいゝかの如く暮らして居る。

一般に嗜みの惡い人であれば、雜誌を讀むとか友人を訪ねるとかする外には此がと云つて何もなく、支那人の遊覽場に出入りしたり花柳の巷に溺れたりする。自分達は外國に住んでゐるのだと云ふやうな考へを持たない、日本人は大和魂の持主だと思ひ込んで居る許りである。哈爾賓の日本人を指導する位置に立つ者は極めて少ない、地に鑛業を開いてゐる者もないではないが、兎に角日本人として居を占めて生活を樂しむと云ふ風の人は極く少ない、同胞の多くは熱を持たない移民であり二三千の同胞であるから中には金に執着を持つ人があつたし現に各方面で成功した人もあるにはゐたが、多くは極めて常に饑えた平凡な生活者のみのやうであつた

哀しもない北滿の野の上に囚はれない自由の世界を求めてスンガリーの流れを汲まうとした人々は一體に元氣である。ないが、一度その元氣をも此地に培うと忽ち自分の金儲けや紅燈の巷に溺れてしまふ。到底人の智識を得ることを知らない隣人を自己を反省することを知らないそして島國根性の核心に向つて活きる方面に努めないのが僕の目撃した哈爾賓の同胞であつた。富士山と瀨戸内海の味噌汁とを離れて自然的排外性の特色とする所から支那人を侮蔑して居るのが我同胞の缺點であつた、同胞が彼等に接觸する機會に觸れる事のないやうな感情を發けつゝあることをさへ全く氣付いてはゐないやうであつた。

哈爾賓に於ける日本人の勢力が未だ遲々として振はずにゐるのも蓋し理由のない事ではなからう。

以上は主として中流以上即ち國民外交の衝に當るべき代表的日本人の一般に對する私の淺き見方であつたが更に其の反面にあつて影の如く潛める婦人の無自覺にして且つ醜業的なる人達の三百に餘る數は在留邦人の中には徐々に引き込んで惡事を尻に持つて行き得る事ができなかつた。内に引込んで惡事を尻にかつた、而も彼等の多くは女子供を守ることの外萬事用無きかの如く見受けずには居られなかつた彼等の唯一の誇りとしてゐるのは誠に擢かれたる宴會の席上に於て平然と洋服の袖を並べ得た官僚とダンスと今一つ西洋人の便乘に便乘して大尚ふをヤンヤと云はせる位がせい〳〵であるかの様に考へられた

冱寒は漸に凍りつく土壤の如く上歩行者の悩みも一通りでない、松花江の結氷は中頃までは八十位の厚さであつたが十九日頃は一尺一寸が例年は大抵二十度位迄であるが測候所には二十二度の記錄が遺されてある

國產 クマ印ミルク

熊印ミルクハ純國產ニシテ最モ滋養ニ富ミ消化良好
熊印ミルクハ北海道帝國大學教授農學博士橋本左五郎氏ノ指導ニヨリテ製造セラル
熊印ミルクノ製造指導者ハ北海道帝國大學教授農學博士橋本左五郎氏ナリ
熊印ミルクハ米國ニ於テ斯學研究ノ權威者タル佐五郎氏アリ
熊印ミルクハ製品ノ優良ニ於テ外國品ニ劣ラズ
熊印ミルクハ各地ニ於テ販賣セラル
熊印ミルクハ國產品ニシテ内外乳兒ノ最良榮養品ナリ
熊印ミルクノ販賣所ハ各地到ル處有名ナル藥店食料品店及藥種店ニアリ

煉乳　札幌區 北海道煉乳株式會社
新事業開始ト白尚淺キニ拘ラズ施設整備シ製品優秀ニシテ保存カニ富ミ外國產品ニ凌駕スルモノアリ其ノ原料供給者タル農家ト連絡及指導ニ努カシ貢獻スル所尠カラズ其ノ功績偉大ナリ

名譽金牌

審査部長正五位勳三等農學博士本田幸介
審査總長從五位勳三等農學博士佐藤昌介
審査ノ成績ニ依リ前記ノ褒賞ヲ授與ス
大正七年九月八日
開道五十年記念北海道協贊會北海道物產共進會總裁

製造元 札幌區苗穗町 北海道煉乳株式會社
發賣元 大阪市高麗橋 合資會社 松下商店

平壤電力問題

再三重ねた 兩社交渉顛末

未だ具體的成案を得ず 成否は一週間内?

【平壤】市民大會を前にした十七日[illegible]興業務は作業の當事者に語つて曰く「平電が我社に協定を申込み我社が之が交渉に應じつゝある事は既紙の報道通りである、我社は平電が新發電機增設迄の不足分を電興から供給を受けたいと云ふのであつたが實際は價値の如何を論ぜず設備完成する迄の供給を望んで居た様である、第二回の交渉で平電は

全部の發電設備を抛ち電興

の電力を受けて市民に配電するも可であるから價格を示せと申込んだ、依つて予は豫て聲明の通り平電が市民に對して値下せんとする額を向ひ其決心の程度に應じて安價に平電に供給せんと答へた、十六日更に大橋氏宅に平電側重役と會見したが平電側田支配人は同社の營業狀態全部を報告して値下の金額に就て據議があつたが予が借ずる價格には未だ相當の間隔があり何れとも決定しないが予は市民の興望に反くものでもなく平電の自滅を望ふものでもない、自ら僞じて平電が下得ると思ふ料金に引下げると言へば電興には[illegible]か

平電が相當利益あるやうに

…の決心があるのだから電力を引下て供給する積りである、予の借ずる額までは平電は如何に因難の樣であるが互に讓意を披瀝して交渉中であるから協定は有望であると信ずる、然し若し平電容れずば電興にも相當決心あり『我社直接たらば此の料金にて成し得』と市民に示し當局に訴へる算心で、此の意に依つた知らる[illegible]金額は豫め平電に通じて置いた交渉迄にては何等交渉に讓する所はなかつたが平電は更に予に數字を示した十五頃役會議を開くであらうから決定の成否決するは

來る二十四五日頃かと思ふ

其紙には『須く電興を監視せよ』と報じて居るが予は平電との交渉に就ては何等の情實もなく誠意を以て斷じて監視さるゝ如き醜態を持つて居らぬ、左樣でして電興が平電百七十何キロかの權利を得るは寧ろ嫌に堪へぬ位である」と

意氣虹の如き 平壤市民大會

各辯士の舌端火を吐く

決議文と實行著手

【平壤特電】終に平壤市民の感情は爆發した、電力問題市民大會は豫定の如く十七日午後七時から平壤公會堂階上大廣間に開催された、森岡三三氏の司會で十七日午後七時[illegible]された、森岡三三氏は電力問題は危機に瀕せるを告げ市民大會を開かざる可からざるを述べて開會の辭とし會議所議員山村猪平氏『平電の前途』と題し行詰つた平電の將來を如何にすべきかと喝破し次に府協議員、會議所議員小林文二氏は『獨占事業』と題して強暴なる資本家を罵倒し電氣事業の如きは營利會社に委せず宜しく府營にすべしと熱辯を振ひ辯者内田錄雄氏は電力問題の依つて來れる歴史から述べて互細に要を述べ『斯くの如く電力問題に對し平電、電興兩社に反省せしめ解決の機運に向はせたものは偏に權威ある京城日報の努力であり平壤八萬市民の感謝する所である』と述べ滿堂の喝采和して拍手の聲を聽く、本社支局長矢嶋小龍氏喝采を受けて登壇『輿論の力』と題して『諸君！大同江の水は何處に流るゝや、低きに流るゝではないか』と叫び『市民の要求を拒否するものは自ら滅するのみ』と火を吐く熱辯で喝采を浴びて降壇、此の時京城日報社より市民大會に宛てられた『大會の成功を祝し謹みて大平壤民各位の御健鬪を祈る』との祝電並に同紙編輯からの『市民大會の御成功を祈る』との祝電朗讀され市民は力強き拍手を忘れて拍手す、次いで會議所議員古莊仁太郎氏『平壤電力の將來』と題して熱辯を振ひ下坂鐵八氏の飛入演説あり司會者から決議文が朗讀された

決議

一、穩健公平なる方法を以て主務官廳に對し市民の意志を訴へ以て平壤電燈問題を平壤府民の一般利益に解決する事

二、實行委員四名を設け全權を委任する事

三、實行委員は將來必要に應じ時々市民大會を開き報告を爲す事

然して實行委員は司會者指名に一任、異議なく決し直に内田錄雄、小林文二、古莊仁太郎、森岡三三の四氏が擧げられた其後數名の飛入演説あり最後に平壤市民萬歳並に京城日報萬歳を三唱し十時散會した聽衆者中には多數婦人も混り氣分緊張を見せた

日米の運輸短縮

【釜山】十五日釜山に入港したる日米運輸株式會社汽船カヨート號（約五千噸）は三井物産釜山支店の小麥粉五百噸を搭載し十六日午後三時上海、香港マニラを經由して米國へ航行する筈なるが此日米運輸會社の出資方法は日本側六分米國側四分の割合にて本社を廣東に存し現に所有汽船六隻の外傭船七隻を有し相互間の航路を[illegible]

江景の物資と改修を要する道路

發展上忽諸に附すべからず

【江景】由來江景は錦江の水運と鐵道の兩利便を有するので經濟上有利なる地位に居り約二萬[illegible]の大部分は同地より水陸[illegible][illegible]

鎭南浦築港請願書

百餘名連署議會へ提出

四、鎭南浦と築港　鎭南浦は十數年前既に大築港の必要を感じ當時安泰線の改築、鴨綠江の架橋、平南線の敷設と相俟つて大連港と共に鮮滿開發の使命を遂行せしめんか爲め明治四十二年總工費豫算額五百四十萬圓内第一期工事費百萬餘圓を以て閘門式船渠工を起し大計畫の下に着手せられたるものなりと雖も工事央にして日韓併合せられ當初の計畫者たる大官の更迭ありて從來採り來れる開港政策は茲に一頓挫を來し大正四年三月遂に未成品の儘竣工の形式を取むに至れり

上述の如く閘門式船渠を中途より開渠式に變更せられし結果は船渠内土砂の堆積甚だしく爲めに年々十數萬圓の巨費を投じ[illegible]

五、貿易と築港利用　[illegible]

六、結論　今や我が國勢の進展と共に商業亦益々開發せられんとするに當り大[illegible]

右謹而請願候也

安信株と權利

【安東縣】安東取引所株式會社の株の紛紛を材料として京城方面にては安取株の[illegible]

一荷の水も一晩がかり

之では困ると平康邑は 水道敷設期成會の設立

【平康】[illegible]

第一條、本會は平康水道期成會と稱す

第二條、本會は平康の用水不足を補給する爲め水道を完成せしむるを以て目的とす

第三條、本會は前條の目的を達する爲め其の筋に請願を提出し專門技師の派遣を求め又は内地より專門技師を招聘し之が研究を求め飽迄も目的の達成に努むるものなりとす

第四條、本會は前條の事業を[illegible]の貫徹を期すへし

委員長高藥五七委員李泰潤、小柳仁三郎、高源村、濱谷重太郎、金萬鎬、趙鋼潤、指山榮次、立會柴田直三郎

客月穀類市價

【仁川】客月仁川市場に於ける米豆取引相場は三等玄米三十三圓二十錢[illegible]三等大豆十五圓五十五錢[illegible]

中鐵運賃解決

【大邱】慶北浦項市民と朝鮮中央鐵道間の運賃問題[illegible]

平博協贊費割當

【大邱】東京に於て開催する平和記念東京博覽會に對する朝鮮協贊會の[illegible]

棉花團委員會

【木浦】[illegible]

甘浦一新

道路と築港で愈よ工事に著手

【大邱】慶北甘浦港は[illegible]

農產物品評會

【釜山】[illegible]

牧の島金融認可

【釜山】[illegible]

平壤郵便局會議

【平壤】平壤郵便局では來る二十六日より二十八日まで三日間管内現業局長會議を開催する[illegible]

お伽噺大會

日時　二十二日（日曜）正午

場所　水原小學校ニ於テ

講師　吉田楚峰氏　八島柳堂氏

主催　水原エス倶樂部

後援　京日こども會

清州學校組合會

【清州】[illegible]

軒安縣警察署長更迭

【安東縣】[illegible]

平壤紳士百態（六）

横山頭取

▲でつぷり肥つた[illegible]

銀行會社

地方集會

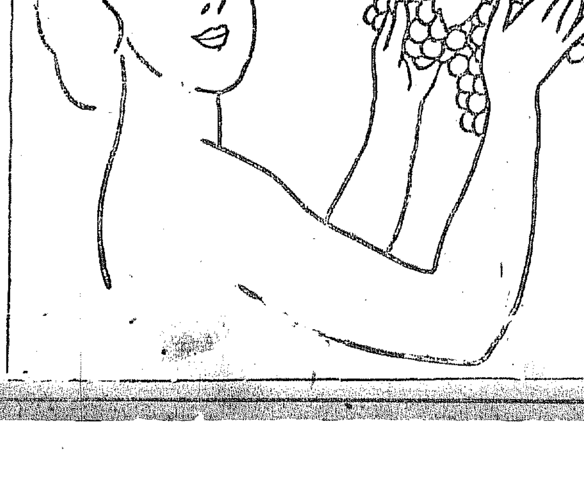
メリヤスシャツ　貳圓七十錢

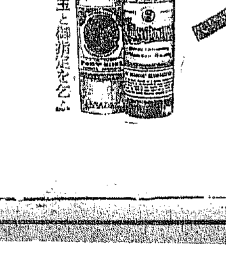
職業　拾五圓迄　三晃本店

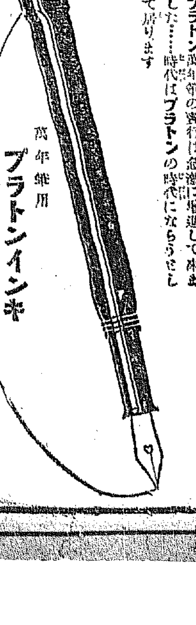
流經新藥レスメリン　月經　常盤藥院

京日案內

入用　讓店　株劵　店員　貸地　ほねつぎ　古本　看護　入用　外務　募集







皮革の保存と・耐久に特徴ある物質を配合し・耐水性の完備せる……
最高級 防水 靴クリーム アテナ
製造發賣元　東京市日本橋區小舟町　長瀨雜貨部
靴・洋品・雜貨店及び等にて發賣す

朝鮮銀行
資本金　八千萬圓
拂込濟資本金　五千萬圓
積立金　九百四拾壹萬圓
總裁　美濃部俊吉

朝鮮童話

卵子の王様

吉田絃峰

【下】

樵夫は家へ歸つて來ました。そして村中の人を集めて珍しい卵子を見せました。村人は此の不思議なものを見て驚きました。けれども、何の卵子であるかを知つて居る者は一人もありませんでした。

『とに角、殼をわつたら分るかも知れない。』と其中で一番智惠のありそうな男が申しました。

『さうだ／＼。それが一番たしかだ』と皆の者が一緒にうなづき合ひました。

樵夫は恐る恐る青い卵を兩手に高く捧げたかと思ふと、地に落しました。すると同時に、天地も裂けるやうな恐ろしい大きな響がして、卵は眞つ二つにわれ、中から眼も眩むやうな黄金の鎧に紫色の薄衣を纏ふた神童が現れました。

樵夫も集まつて來た村人と、氣高いこの神童の威光の前に、しばらくは頭をあげる者もなく、跪づいて畏つて居ました。

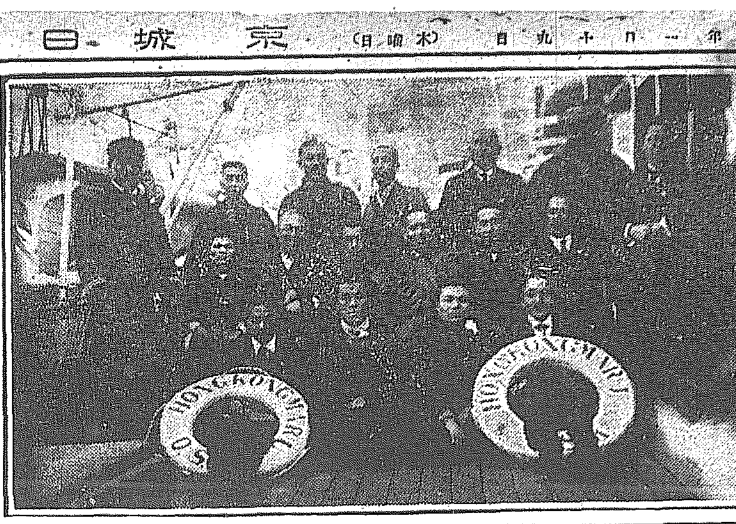
微風はえも云へぬ高き香りをもたらし、青々と澄み渡つた空からは天人の奏する妙なる樂の音が、かすかに起つて來ました。あまたの天女は、銀の瓔珞のやうな白雲の上で、薄絹の袂を霞のやうになびかせつゝ天人の奏樂につれて、世にもあでやかに舞ひ初めました。草木は一時に美しい紅白の花をふくらませ、百千の鳥は透き徹るやうな涼しい唄ひ聲を合して、この神童の生誕をはやしたゝへました。その聲は國中のすみ／＼にまで冴え渡り、明るさにみちあふれました。

今まで怠けてゐた國中の人々は、この妙なる奏樂と小鳥の囀りに眼をさましました。そして美しい草木の花に喜びと慰めを得て、仕事にいそしむやうになりました。

學者達は『このお方こそ私達の戴くべき國王にちがひない』と大そう喜んで、國號を鷄林と定め、賢い卵から生れ出た神童を新羅の王樣に仰ぎました。樵夫は自殺を助けた蟇の報ひで王樣を山中に見出した功によつて大臣になりました。

そして國は平和におさまりました。

―（おわり）―



臺灣視察團一行＝香港丸の甲板にて＝

常夏の國へ【臺灣視察團第六信】

愈々基隆に上陸

官民有志に迎へられて

臺北の旅舍にて　楚峰生

梅雨のそぼ降る中を縫ふて我が香港丸は七日午前八時三十分基隆に入港した

數隻のランチに分乘して出迎へられた遠藤基隆郡守、山内基隆街長、土木出張所長田中一三氏、熊谷港務官、大村、松本警察課長、長野稅關事務官、諏訪商船支店長、東鄉臺日記者を初め多數の官民有志は本船に乘り移つて勞を犒ひ殊に以前朝鮮の稅關に奉職してゐたと云ふ基隆稅關の野田直彦氏は視察の便宜を圖かつて一行に臺灣の繪葉書を一組づゝ寄贈された。

かくて本船が岸壁にその巨體を横付けするや、一行は豫て當局より準備された監視の汽艇に移乘し松本警務部長の案内にて港内を一周した。

基隆港は東西南の三面は屏障を以て圍繞され地形自ら天然の良港たる素質を有するが毎年十一月より翌年三月までは雨期であつて北東の風強く暴風は年平均二十八回を算し七月より九月の間に起る低氣壓は風威猛烈なるもの多いので豫算總額千五百八十七萬圓の巨費を投じて明治三十二年より築港工事に着手したがこの大事業も殆んど完成に近づき長さ四百二十五間の岸壁はよく六千噸級の汽船七隻を一時に繋留し一萬噸の巨船も直ちに横附け得る事になつてゐる。

港灣視察を終ると基隆街長の招待で海邊に臨んだ小高い丘の上に建てられた倶樂部に案内され茶菓や果物の饗應を受けた、臺北の列車時刻は九時五分だのに懷中時計を見ると最早九時半になつて居るので大に狼狽したが臺灣は緯度の關係上内地朝鮮より一時間遲れてゐて今正時間は八時半だと聞いて一行は一齊に懷中時計を出し臺灣時間にあはせるなどの小さいコミツクを演じた。

かくて基隆の官民諸氏に見送られ急行列車で四十五分を費し臺北驛に到着する。

プラツトホームには高田臺北州知事を初め田阪内務、新服警務の兩部長小野視學官、施設局庶務課長、稅務課長、中澤事務官、野口、太田、大樹の各理事官、山田知事官房文書課長、晉羽、市川兩技師、臺灣電力副社長、角源泉氏、各新聞記者その他總督府、臺北州、臺北市の官吏、市内の主なる實業家有志三百餘名諸列して我が視察團を迎へ構内は非常なる混雜を呈した

一行は出迎の人々に對して一々挨拶をなしつゝ驛前廣場に出で臺灣日々新聞社の寫眞班のレンズに入りたる後、市役所より差廻された四臺の自働車に分乘し島田市尹殖產局の森總督府の車迎にて先づイの一番に總督府を參觀した

臺灣行は冬に限る

今でも袷に素足

樹木の間に建つた家屋　臺北の道路は東洋一

七日夕臺北にて　殘月生

基隆が近づいたといふので、まだ暗い内から船中はそわついて來た。港口に達したのは七時であつた。暫らく陸地を見なかつた故もあらうが兩岸の丘陵が殊の外に青々と美しく見える。朝鮮の山容とは種類の變つた形をしてゐて緑色濃き夏山のやうな裝ひをして吾々を迎へて與れるのが何より嬉しかつた。

細長い港を奥深く這入つて行くと左には東京の銀座を見た様な煉瓦建の二階屋が長く並んでゐる。右には倉庫が建つてゐる。港の突き當りには郵便局が大銀行か何ぞの様に堂々と構へてゐる。一體の規模は釜山のやうに偏々としてゐない代り何となく引き締つた風がある。建物の粒の揃つた所は一寸西洋にでも來たかと思ふ位である。

總督府の土木出張所と基隆街認の手厚い待遇によつてランチで港内を一周して公會堂で茶菓の接待を受けた。臺灣日日からも臺南新聞からも、記者諸君のお迎に預つた商船會社、郵船會社、日米商會、基隆街長、基隆郡守、基隆郡警察課長等の出迎に痛み入りつゝ九時五分の汽車で臺北に向つた。

第一に目に着いたのは今正に苗代の床を作る爲に水牛を使つてる光景である。見るも／＼悉く水牛で馬や普通の牛は一匹もゐない。神樂諸君は生れて初めてだと子供の様に珍しんでゐる。今頃苗代の床をして置いて二月頃に挿秧をやる。一收穫が七月頃で、之を刈ると直に二番の米作に取かゝる、其收穫は十一月だそうである。

臺灣に當る風の簡略りは四月の末頃の氣持ちである。學校通ひの子供は女の兒まで素足である。着物は袷に綿袍位である。京城では今頃寒さが骨に滲み透るやうであるのに、臺灣の冬とは云へ斯うまでも違ふものかと驚かずにはゐられない。

總督府の百八十尺の高塔に昇つて見降ろすと、淡水河に沿ふた平野に屈托なしに設計せられた臺北市は實に延び／＼とした氣分を起す。相思樹と榕樹との並木が何處の道路にも房々として緑の森を作つてゐる。家屋の周圍に樹木があるといふては實況にならぬ。樹木の間に家屋が建つてゐるといふのが適當である。道路の廣々として悉くアスファルトで敷詰めてある所は東洋一だと臺北人の誇りとする所である。臺灣の旅行は冬に限るやうだと一行は此視察團に加はつた事を滿足に思つてゐる。

中央研究所といふのは一昨年まで各獨立してゐた各種の研究所を統一したもので、農業部工業部衛生部林業部の四部から成つてゐる、最初分立してゐたものを集めた爲め、まだ其統一は十分に行屆いてゐないけれども、今少し連絡を付けて各部に共通な所を纏めて行けば冗費を節することが出來るし、從つて他の方面に手を延ばすことも出來るに違ひない。勿論是れは容易な仕事でないことは明白であるが、各部の部長を納得せしむるだけの科學的素養を有して事務統一のオを具へた人物を所長に据ゑれば成功することは疑なしである。若し斯うした人物を得ることが出來ないとすれば釣合論で經費は却つて増加するし、各部は餘計な掣肘を受けて思ふ樣に働けぬことになる。折角の各案も斯うなると又矢張り元の方が優であるといふことになつて仕舞ふ。

バナナや蜜柑の味の佳いのは到底他處の及ぶ所でない。冬の眞ん中に茄子や南瓜や黄瓜の新しい奴を食膳に供せられると、何だか勝手が狂つて面喰らつた氣持ちになるが、今でも蚊帳の内に寢まねばならぬのは、氣狂じみて本氣の沙汰とは受取れぬ

京城女教員會　總會と新年會

客臘十七日を以て發會された内鮮合同の京城女教員會では、豫て同會の主旨である會員の修養向上親睦といふに基き來る二十一日午後一時より南山町高等女學校に於て大々的に總會を兼ねた新年會を催される筈にて當日は單に親睦のみに止まらず京城知名の士の講演がある筈

蘆花氏下關に來る

名物の河豚に憬れて　徐に唇を突いて出る最近の消息

日本のトルストイ、土の讃美者、文豪蘆花徳冨健次郎先生が十五日朝ヒヨックリ下關へ姿を見せたので山陽ホテルに訪へば『新春』を擱いた折柄何年振りかで斬り落した頭髮は昂下と共に今も奔放に刈られて白髮の少し計り交り初めた頭を丸刈りにして強度の近眼鏡の下に何等かの思索を秘めて居るかの樣な双の瞳を光らせつゝ溫顔に笑を湛たへて『暖い汽車の中でスチームが餘り利いて居たつたので少し風邪を引いたと見えて寒氣がしますから』と自ら暖爐に石炭を入れながらポツ／＼と語る『今度下關へ來たのは久しく思つて居た名物の河豚を食べ度い爲です。東京にも近來美食俱樂部と言ふのが出來て海豚料理も出來るさうで、度々誘はれたけれども本場のホントウのものを食べる迄ではと食べずに居りました。これから先づ別府へ行かうと思つて居ます。東京は人が多いから潤合喧しいけれども、私の武藏野の粕谷の家は純日本式で房總(?)の避寒が不十分なのと以前はさう寒さも無かつたが、近來年の加減か大變寒さがこたへますので、小い洋風の住居を建て度いと思つて居ます。今は未だ實現しませんけれども、筆を採つては居ません。今度は小説を書く積りです。私の作物に付いては色々の批判がありますけれども、元來私は私の得たものの中で說教したり宣傳したりした事がありません。此の態度に採つたり思つたりした事を有りの儘に小說なり其他書いた物の形を借りて表白したので、此點だけは汲み取つて貰ひ度いと思ひます。然し私の書いたものを所謂作家が大分讀んで居て呉れますので有り難いと思つて居ます。文壇の方面ですか、私も余り系統的には調べて居ませんけれども、所謂理想張りの勸善懲惡主義から現在の世相なり思想なりの有りの儘を寫すと云ふ彼の自然主義が文壇に頭角を現した動機は見免してはなりません。ドウしても眞を寫したので無くては駄目だと思ひます』と語は益々熱を帶び來り先生の頬は溫顔の中に一瞬の若い血が上つて一しほ微温の態度となり靜々と述て口を閉じ靜かに瞑目に付いた。モウ先生の河豚を喰ひに行かれる時間が切迫したので、これを切に辭した。外には小雪がばら／＼降つて居る（下關）

優勝旗爭奪歌留多大會

期日　一月二十二日午前十時より

會場　本町二丁目はつね（江戸川裏）

會費　金一圓（當日御持參を願ひます晝食を差上げます）

賞品　（一等金メタル、二等銀メタル、三等銀メタル、四等銀メタル、五等銀メタル六等以下十五等まで、副賞品多數あり）

主催　京城日報社

二十二日午前九時より本町一丁目料亭はつねの樓上に開催される本社主催の全鮮歌留多大會發表されるや、素晴らしい人氣を煽つて京城人士は異常の期待を持つて當日を待ち侘てゐる。二十二日も後三日を剩すのみ。各會の選手は孜々として練習に努めつゝある。秋風會、かるた會か各會幹事の協議で選せられた美矢美會の發議は如何無所屬選手の參加と思へば今にして血は躍る、競技ルールは在來のものに依る事に各會幹事の協議で決せられた

趣味の婦人

自作の俳句に刻まるゝ家庭の人の眞情

働けば若やぐ頬よ冬かゞみ

新田技師夫人　時子

總督府鐵道部の勅任技師新田氏夫人時子さんは俳句に少からぬ趣味を持たれ、和歌などに見ては比較的に歸人の數の少い當地の俳壇に、宛かも荒蕪の叢の中に咲く紅花のごと異つた色彩を放つてゐられます、

この道を分けられた夫人が、たといふも、もとく夫君の趣味が誘ふたもので、こよない夫君のこの趣味の上に多少なりとも理解が持て興趣を同じうする事は何よりも家庭を幸福にする所以であるといふ意からされたそうで今では大勢のお子様まで自然この趣味に馴ずられて、七つ八つといふお子様に至るまで、夫々にあどけない氣分を十七文字の上に列ねて、樂しまれます。

同家は

殆ど俳句の家庭といつてよい程であります。流石に時子夫人は平素微やかな家庭の人である處から、其の作にも何處までも家庭婦人の眞情が籠められてゐます。夫人の作は折ふしに松汀女として當地の雜誌『松の實』の中にあらはれます。

土間くらく干大根のにほひかな

働けば若やぐ頬よ冬かゞみ

講開緒にほゝけて白き頭かな

以上は夫人の近作でありますが、雅名の

松汀女

の上にも、流石俳人には相應しい…一度眼にされた元山海濱、白砂青松の松汀里が、またなく好まれ、殊にそれから取られたものださうです…夫人は『拙ない乍ら大人も子供もといふ家中の趣味で、更に角家庭趣味の統一といふことは又何より嬉しい事ですから、これからも氣長に續けて參りませう』と語つてゐられました。

難破船員を救うて　表彰方照會する

慶南群沙里面長林里金鳳允（二三）及金鎔鶴（二八）は客年十二月十一日午後大多浦沖航行中船腹を破られ兩名海中に共闘せる折柄航せし郡銀補一人にて發見救助せる美擧に感じ加々尾署長より之れが表彰方を澤田知事に照會せる由（釜山）

小爲替を盜取す

新義州常盤町四片倉まさが昨夏京都府宇治に送つた五圓の郵便爲替を窃取した犯人は龍岩浦郵便局の集配人小幡藤吉（二七）と判つて捕はれた（新義州）

篤志會から寄附

本町四丁目篤志會にては客臘櫻井校母姉會を通じて大賣出しの際抽籤に漏れたる物品を櫻井小學校母姉會に託し適當の方法に依りて金に代へ北鮮部を兒童に附備へ付兒童の購入費中に寄贈する由因に北鮮部數は總數一千四百三十五點にして白米一叭外火鉢、メリヤス類下駄、鍋、バケツ、鏡臺、燐寸、菓子等也と

香川縣人會

在城同縣人を以て組織する香川縣人會は一月二十日午後六時より定時總會を兼ね新年親睦會を催すべく會費は五圓出席者は十八日まで明治町二丁目同會事務所（電話五七三）へ申込まるべしと

金氏華燭の典

京畿道參與官金氏長男用柱氏は… 女好子と… 媒介にて十七日午後四時長谷川町日本基督教會に於て結婚式を擧げ夜は朝鮮ホテルにて披露宴を張る筈

關釜連絡船

釜山發　午前六、三〇　午後八、四〇分

十九日　朝、壹岐丸　夕、高麗丸

二十日　朝、對馬丸　夕、新羅丸

二十一日　朝、壹岐丸　夕、高麗丸

牛疫蔓延の兆　平北楚山地方に

平北楚山地方に牛疫發生し昨今益々蔓延の兆があると（新義州）

新義州の猩紅熱　又復患者續出す

一時下火となつた新義州の猩紅熱は最近又復續出しつゝあるが、最近に至り十六日迄の發生數は十三名を算してゐるが之が爲め新義州學校は冬期休業中であつたが臨時兒童召集をなす筈だつたが中止することにした（新義州）

消防隊改善さる　釜山での大改革

火災に因る年々數回の慘害に對して府民の苦しく之が豫防鎭火に任ぜられる處なるが、自働車喞筒其他新式器具の購入を了し更に自働車喞筒近く船用喞筒水管等に消防部の組織に就ても警察側の援助を得ると共に今次の大火に鑑み警察との關係に消防手等に對する訓練を以て次に消防組の組成を完全し統制的組成及訓練を徹底せしむ可しと（釜山）

演藝案内

大正館　電話七三　松竹キネマ映畫特約店　一月十九日より特別大提供　…鹽原多助　全六卷　…

京龍館　電話三一一番　株式會社日活特約　◎新派悲劇　思ひ妻　全六卷　◎大活劇　三ツの金貨　全五卷　…

喜樂館　日活直營　…涙の母　全五卷　…不破數右衛門　…最後の勝利　全四卷　…戀慕流し　全六卷　…

中央館　永樂町一丁目　電話三〇一四番　一月十九日より　◎舊劇　後藤又兵衛　全五卷　◎人情劇　人の心　全五卷　◎新派　除夜の當夜　全四卷　…血の力　全五卷

京城劇場　本町…

浪花座　本町五丁目　俠客と力士　忠僕直助

黄金館　…老船長　全九卷

浪花館　明治町　電話二一六〇番　一月十九日より　浪花名人集

壽館　電話七八五番　一月十五日より　オペラハウス

白面鬼　全五卷　…高級十三の秘密

大正館　當る十九日　封切　松竹キネマ大特作映畫　婦女界連載小說　大悲劇　思ひ妻　全五卷　痛快無比な西部大活劇　三ツの金貨　松竹歌舞伎俳優新作品　塩原多助　全六卷　大正館

品質　木位

販賣店ヲ募ル　ゴム靴　定價表進呈

新型各種品揃

東京屋ゴム靴製造所

大阪市外鶴町

軍隊用式

純毛ジヤケツトシヤツ

上下一組　特價金貳拾五圓提供

但シ貳百組限リ

京城本町二丁目　洋服雜貨小賣卸商　八木權商店　電話二五九四番

何と云つても酢料理の酢は香りがよくて味のよい

橙酢の素

到る處の八百屋、酒屋、食品店に販賣す

大阪谷町五　製造發賣元　住吉屋

滿州一手販賣元　大阪

特約店　京城、仁川、釜山、同

朝鮮中學校　高等普通學校　商業學校　女學校　入學試驗問題集　答案

最近問題入　定價九十錢

中等學校の入學試驗を受けらるゝのは學生諸君に取ては非常な平勢でありますが此の本を御覽に成れば容易に入學の幸福が得られます

南鮮名產　乾海苔

廉價販賣

小山治太郎商店

鎮咳祛痰劑　エバニン

武田長兵衛商店

小西新兵衛商店

光熙門城壁下の

共謀して詐欺

賭博で騙る

光熙門外一號家に强盗殺人事件は…内は色めき渡りて刑事は八方に飛躍…活動寫眞に撮影したるフイルムが此…現金二千八百圓…押入り上海…

天氣豫報

…氣溫は昨朝より一般に下降しつゝあり京仁地方は零下十五度内外北部國境地方は同じく三十度内外なり

老婆殺し眞犯人か
本町署俄かに色めき立つ　事件はう展開する

時より本町署長同司法主任[illegible]再び檢證に依りて有力なる手懸りを得たるもの〻如く十八日午前十時より提關會部長檢事局に赴き大賀檢事と密議を凝らし午後一時署に歸するや[illegible]の目星にて秘密裡に事件は進行して居る

消防家族慰安會　京城消防

京城消防隊に於ては本年度出初式の光景を[illegible]時から二三の家族入場員と共に中央館に於て消防家族及來賓に觀覽せしめる筈であるが尚來月上旬火災豫防宣傳の一つとして一般に無料公開する事となつてゐる

三名の若い賊

[illegible]四百六十四圓を[illegible]同人宅より約三百圓の山中にて在中の現金九十三圓餘及人參等の賍品を見出し七十六圓を費ひて逃走せるが何れも[illegible]他四名に誘はれて賭博をし六百圓許り負けたところ後に至つて詐欺に騙されたことが判り其筋に訴へたが[illegible]人は一名詐欺はれたのみで[illegible]

晴一時曇

十八日朝高氣壓は支那大陸の北方に擴張し夫より次第に東南を經て日本海方面に遍歳しつゝあり全鮮晴天にして[illegible]

九日京城付近は晴れにして一時曇るべし
十七日最低〇、一五〇　四、〇〇
十八日正午〇、一三〇　一〇、四〇〇

香煙濛々と匂ひ讀經の響き悲し
總督以下在京官民參列し　肅然襟を正さしめた追悼會

天成の政治家にして稀に見る[illegible]の理想を說いて倦まず育英に政治に文教に貢獻せる所[illegible]常に我が國論をして海外に重きをなさしめたる世界的偉人大隈侯逝いて一週日風雅かなる[illegible]南山町本願寺で京城府主催の追悼會が舉げられた

十七日午後三時から我が京城府有力者の代表人物李完用侯、吉松府尹、[illegible]實業家諸團體會頭、安藤參謀長、[illegible]池田殖產局長、佐賀縣人會代表鈴木[illegible]、早稻田大學校友會代表[illegible]四郎介氏等及京城日報新聞通信社の發起にて南山本願寺に於いて追悼會が行はれた、正面の佛壇には衣冠束帶の侯の肖像を安置し左右には齋藤總督、水野總監、京城府、朝鮮銀行、殖產銀行、東拓銀行、[illegible]佐賀縣人會、早稻田校友會及び本社等より供せる花輪美しく飾られ偉人の英靈を追悼せる誠意を表現して居る、定刻前から齋藤總督、水野總監、渡邊法院長、上林李王職次官、前田少將其他朝鮮貴族、總督府高等官、銀行會社新聞通信社代表者等其他府內有志等無慮五六百名何れも本堂內に蝟集して故侯の偉人の靈に對して居た、定刻に至るや各宗僧侶數十名參列茲に導師讀經に進みて燒香三讀表白文を啓して御靈前に捧げ次に吉松府尹は主催者として府民を代表し弔詞を朗讀し、[illegible]氏は早大校友會を、鈴木氏は佐賀縣人を[illegible]代表して弔詞を朗讀せり何れも偉人の德をたゝへ其逝去を悼むの哀情を述べて參列者をして肅然襟を正さしめた、次に齋藤總督の燒香あり次に[illegible]終つて[illegible]氏遺族として[illegible]吉松府尹、齋藤總督、水野政務總監其他一般參列者の燒香ありて式を終へたのは四時過ぎてあつた、尚參列者一同から東京大隈邸に向つて左の弔電を送ることにした

故從一位大勳位侯爵大隈重信閣下の逝去を悼み京城府民有志相會し茲に哀悼の式を舉行恭しく弔意を表す

京城府哀悼會發起人總代　吉松憲郎

大隈侯追悼會　平壤華頂寺にて

【平壤】楠野府尹其他發企となり既記の通り十七日午後四時より平壤華頂寺に於て故大隈侯追悼會營まれ莊嚴なる讀經の後楠野府尹其他の悼辭あり香煙濛々と立迷ひしめやかなる中に午後五時法會を終れり

鳳凰の間で歌御會始め

【東京電話】本日午前十時より御豫定の如く宮中鳳凰間に於て皇后陛下攝政殿下臨御大正十二年歌御會始を擧行せられたり但[illegible]

皇后陛下御歌

青海原なみおさまりて昇る日に
陸みあふ世のさまを見るかな

攝政殿下御歌

世の中も斯くあらまほしおだやかに
あさひ匂へる大海の原

歌御會披講選歌

靜岡縣士族　石川守雄

寄る波の一つ一つに新しき
ひかりを見せて照るあさひかな

東宮侍從子爵牧野貞亮妻　悅子

たゞ迎ふ浦の果より昇る日に
黄金のなみの岸に寄りくる

鹿兒島縣士族　新納時守

大海の佐田の岬のあら波に
としの初日のかげぞ唯さす

宮城縣　雁金養齋

大君もみそなはすらん旭さす
葉山の沖の波の光を

三重縣　久志本久七郎

かぎりなき青海原のなみのへも
せはしとてらすあさひかけかな

文部省國語調査囑託　安藤正繼

わたのはらかゞやく波は昇る日の
光よりわく心地こそすれ

東京府華族　津輕理喜子

海はみな光となりぬあさつくひ
いそ山たかくのほるまにまに

和歌山縣　林善雄

しまかけにまたともしひは見えなから
旭にもゆる沖つしらなみ

京都府華族　高倉久子

浦人のきしにおろかむかけ見えて
あさひたふとくなみにかゞよふ

山口縣士族白石資雄妻　綠

かゞやかぬ波こそなけれあさつくひ
拜かむほとに海をはなれて

愛知縣　岡崎滿

あさつくひ今し昇りて七色の
波のはなさく沖津いはむら

東京府　久保田巳代子

わたつみの神のゑまひと見ゆはかり
凪ぎたるなみにあかひかゝやく

茨城縣　岡野常次

あたなみもこゝろありけにしつまりて
旭のかけはくたかさりけり

隈侯追弔會
【上は一般參拜者の燒香〔下〕參列した總督總監】

御進講の榮を負へる三博士

孔子爲政篇の天命を知るの一節
孔子沒後二千四百年　孔子感化力の淵源を繙にす　服部宇之吉博士談

本年御進講に際し論語爲政篇中子曰く吾十有五にして學に志すの一節を講じ其內五十にして天命を知るの一節に就て特に詳らかに進講致しました而して進講書として論語を選びましたとは本年恰も孔子沒後滿二千四百年に相當するからであります尚又特に爲政篇を選びましたのは孔子の人格の偉大なる所以を明かにせんが爲で又特に天命を知るの一節を詳らかに御進講致しましたのは孔子の感化力の淵源を明かにせんとするにありました天命を知るとは道を天下に明かにし民の爲に太平を開きつゝ自由の天より與へると云ふのが孔子の信念であります孔子五十年以後の活動は一に此の信念を基とし又孔子の人格が二千四百年後の今日に於て吾人の尊敬を受けてゐるのは此の信念の力と思はれるのであるが國にも又天命があります[illegible]世界人類に於ける文明は調和融合し特色ある一種の文明を形成しなければならぬそれを世界に普及し以て世界の文化に寄與し人類の福祉を增進するのは吾國の天命たるべき事を以て進講を結びました

日本書記の勾玉と鏡の祝詞
建國の始めに於て天祖が御示教になつた治國の方針　松本愛重博士談

私は度々御進講の光榮を擔ひましたが今上陛下には大正三年から引續き進講致しました今回攝政宮殿下に最初の年に御進講を勤めるのは最も光榮と存じます私は日本書紀の勾玉と鏡劔に關する祝詞を言上致しました天照大神は勾玉の如く妙に天下を知ろしめし又鏡の如く明に山川草木を照らし又鏡の裏面の如く山川草木を統しめし若し然らざるものあれば劔を以て平定し給ふと云ふ事柄であります之三種の神器は我國の興と定められたもので[illegible]之ぞ建國の始めに於て天祖が御示教になつた治國の方針修身の要領であるから我臣民上下一致して斯道に守すべきであると云ふ意味を講述したのであります

世界の恒久平和と國際聯盟の義
各國の自由意志に依る眞の平和の主唱者たれ　穗積陳重博士談

今回の御進講は平和條約は未曾有の大戰の後に又未曾有の治安策を以て[illegible]千七百八十九年にベンツムは世界的恒久平和に就てカントも千七百九十五年に同樣の見地から世界の永久平和を高唱したベンツムは英國の實利主義の哲學者でカントは獨逸流理想家哲學者である雙方共に主張は相違して居るが世界の恒久平和は國際聯盟に依るの外ないと喝破したのである從來の國際法は我國の國家を維持するに最後には兵力を以てしなければならない事を認めて居たが今回の國際聯盟は各國の自由意思に依つて出來たもので[illegible]前記兩哲學者の意思が數百年の後に兩學者の理想を生んだ國が主となつて兩哲學者の理想の實現を見たのも面白い現象と云はねばならぬ吾國は五大國の一となつて國際聯盟の主唱者となつた[illegible]

臺灣視察團歸る
窓越しに遠つ秀峰を眺め　歡談笑聲交みに絕へず　汽車は一路京城へ

釜山棧橋を後スチームの暖まりで和氣藹々車中の一行の面々も漸く落つき[illegible]の裡に朝飯を終る、車窓越しに見ゆる遠つ秀峯が白雪に包まれて嚴かに聳え立つてゐるのも、南國の綠の色に慣つてゐた一行の瞳にはそれが寧ろ驚異であり又なつかしくも感ぜられた、列車が秋風嶺に停車中赤尾氏は團長としての最後の挨拶をなし祕藏のビールを開けて乾盃し一行の健康を祝すると共に將來の[illegible]を謝した、大田驛で全州へ歸る林氏に分れて一寸寂寞を感じたが成歡驛からはこの空氣を恢復してはゐた、[illegible]紅一點の花を得たる如き心地もて一行は夫人を中心として京城の近況に耳を傾けた、水原からは[illegible]出迎への本社河谷庶務部長吉原記者も乘込んで車中大に賑はひ談笑盡きざる中に列車は南大門驛に到着した

團員を取圍んで
健康を祝するやら久濶を叙するやら　時ならぬ混雜を呈した

新年第三日に京城出發以來十五日を經て樂しく愉快に思ひ思ひの觀察を了へた我社主催の臺灣視察團一行を乘せた急行列車は十七日午後七時五十分漸く南大門驛プラットホームに這入つた[illegible]構內雜沓の音に交つて時ならぬ混雜を呈した、[illegible]一行の客車を取圍んで[illegible]赤尾團長は起つて謝意を表し[illegible]「京城日報社萬歲」を三唱した後赤尾團長は解散する事を宣した、團員は或は家族其他の者と談笑の裡に各自歸路に就た[illegible]

キネマ帳から

『除隊の當夜』來る十九日より公開する中央館の映畫『除隊の當夜』は某師團に於ける事實譚を脚色したもので映畫中悲劇を以て全篇を綴られてゐる帝國キネマの傑作品として阪都に於いて在鄉軍人現役軍人から總ゆる讚辭を博したものだと言ふ、因に同館では十七日葬儀を執行された維新の元勳大隈侯葬儀の實況を[illegible]

常設館の映畫

中央館　十九日より新映畫實寫『伊太利のリベンナ風景』滑稽『ジヨンスに負けぬやう』[illegible]『人の心』全五卷
黄金館　十九日より[illegible]『除隊の當夜』全四卷[illegible]

東京相撲五日目勝負

【東京特電】東京大相撲五日目（十七日）勝負左の如し

勝		負
高の山	（押り切り）	若湊
綾鬼	（突き出し）	淺見藤
伊吹山	（押し倒し）	白岩
陸奥山	（卷き落し）	柏山
能代潟	（寄り切り）	阿蘇嶽
綾錦	（首捻り）	藤の川
若常陸	（叩き込み）	紅葉川
矢筈山	（痛み分け）	東雲
大門岩	（寄り切り）	琴ケ浦
三杉磯	（卷き落し）	常の花
清瀨川	（上手投げ）	栃木山
中入		
太刀海	（捻り倒し）	常陸島
光風	（突き放し）	小牛田
太刀光	（上手投げ）	司天龍
阿久津	（突き落し）	兩國
鞍ケ嶽	（突き倒し）	大の里
若葉山	（突き放し）	福柳（本社懸賞）
鶴ケ濱	（浴せ倒し）	千葉崎
源氏山	（叩き込み）	友の浦

打出し午後六時五分

訂正　號外五日目勝負中若常陸對紅葉川の勝負を若常陸の勝とせるは紅葉川の勝の誤りに付訂正す

五日目手捌き

【東京電報】五日目東京大相撲手捌左の如し ▲高の山に若湊＝高手繰りを試み若寄り返して右筈に押し切りて若の勝 ▲綾鬼に淺見藤＝激しく突き合ひ突き出して綾の勝 ▲伊吹山に白岩＝伊吹右筈左筈一氣に押し倒して伊吹の勝 ▲柏山に陸奥山＝左四柏上手投げを打つて寄れば陸奧土俵際に之れを卷き落して陸奧の勝 ▲能代潟に阿蘇嶽＝左四となり寄り切りて能代の勝 ▲綾錦に藤の川＝左四となり綾頭捻りを試みて綾の勝 ▲若常陸に紅葉川＝若の寄りかゝる身を紅葉引き落し餘る身を叩き込んで紅葉の勝 ▲東雲に矢筈山＝右四となりて激しく揉み合ふ內矢筈血を出して痛み分け ▲大門岩に琴ケ浦＝左四一氣に寄り切り大門の勝 ▲常の花[illegible]

中入 ▲常陸島に太刀海＝太刀二本差し捻り倒して勝 ▲光風に小牛田＝光敵の肩口を抑へて押し土俵際に突き落して勝 ▲司天龍に太刀光＝突き合ひ右四となり司天鋭く寄れば土俵際に上手投げを打つて勝 ▲兩國に阿久津川＝阿久津右筈宛て一氣に押し土俵際に突き落して勝 ▲大の里に鞍ケ嶽＝突き突き倒して鞍の勝 ▲若葉山に福柳＝若葉兩筈にて押し土俵際に突き放して勝 ▲鶴ケ濱に千葉崎＝[illegible]なり互に吊り合ふ內千葉[illegible]

懸賞　尋ね人

四十一二歲男、顏丸き方、色黑き方、身長普通、頭五分刈、服裝縞綿入同羽織着用、一月十三日マントなし、行衛不明、人ノ見當リ次第家出[illegible]御保護ノ方ヘハ金百圓ヲ呈ス、知ラセ先　京城南米倉町二〇五番地　澤村莊松（電話一八二三番）

二瀨川＝右四滿瀨左內掛けに掛け投げを打つ奥木極つて滿瀨の勝 ▲能く堪え卷き落して勝 ▲栃木山に三杉磯＝常に木を差し一氣に寄り進まんとする處を三杉土俵際に[illegible]

杉本節代

死を心配して多くの人々生氣の毒に堪へず▲希望に任す居所至急知らせ　京城黄金町二ノ一四八　大久保

大錦病重る　容態增進す

【東京特電】本擴町の自宅に[illegible]中の東方橫綱大錦は[illegible]靜養中なるが十三日朝來容態增進し醫師は憂慮しつゝあり

七日取組

射水川…阿蘇嶽　光風…白岩
柏山…阿久津
伊吹山…太刀光（本社懸賞）
司天龍…清瀨川　常陸島…紅葉川
福柳…三杉磯　大の里…矢筈山
源氏山…大門岩　栃木山…若葉山
中入後
高の山…淺見藤（本社懸賞）
若常陸…太刀海　友の浦…小牛田
綾錦…琴ケ浦　兩國…陸奥山
東雲…藤の川（本社懸賞）
鞍ケ嶽…鶴ケ濱　常の花…千葉崎

人蔘湯

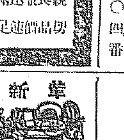
▲八日飯[illegible]十里で永眠した全京城庭球部の非田君は運動にかけては頗る器用であつた ▲撞球、野球、庭球、スケート、[illegible]其他何でも一人前以上の腕前で曾てカフエーエビスで撞球大會が開かれた時初棒で二百五十突切りといふ記錄を作つた ▲是を記念する爲に作られた名譽の[illegible]が今は遺品となつてカフエーの撞球場に揭げられて居るのも哀れを增す晩年の持點は三百五十點であつた ▲庭球では大膽な[illegible]ーションで活躍する處殊にボレーは天下一品の觀があつた ▲本社主催の庭球大會第二回第五回に優勝し第七回には寺內總督[illegible]優勝旗を受領した ▲東亞に角君の死は半島運動界の爲に惜しいことだ朝鮮體育協會からも鄭重な弔電を發したと云ふ

朝鮮事情を紹介のポスター募集
總督府で平和博に徹底的に朝鮮事情を宣傳する爲め　總督府文書課で

來る三月から東京に開催の平和記念博覽會に朝鮮事情の徹底的紹介にポスターを用ゐる事となつて今回總督府情報委員會で圖案を廣く募集する事となつて詳細の事を十八日發表した入選者は一等百圓として五等まで約二十に賞金を呈すと

一期限二月十日迄
二目的
（イ）內鮮融和を表はすに適當のもの
（ロ）內地人は朝鮮問題を研究し朝鮮に親しみを感じ朝鮮人に對し情愛を持する必要があることを表はすもの
（ハ）朝鮮の文化殊に美術音樂服裝及建築等は古代內地に傳來し彼我の關係密接であり今日世界の大勢から觀れば內鮮渾然一體となつて東洋永遠の平和を確保するに努めなければならない使命を有して居ることを表はすもの
（ニ）朝鮮の產業教育交通衛生諸制度其の他一般文化進展の狀況を平易に面白く表はすもの
（ホ）朝鮮に投資し水利開墾其の他產業に關する事業又は鐵道事業等を經營することは有利であると云ふ意味を表はすもの
（三）標題は前項に依つて適宜作製者で選定すること
荷送り先は總督府文書課情報係

熱淚も全篇が綴られてあるる實事劇
除隊の當夜
△在鄉軍人諸士の見逃されぬ大寫眞
一月十九日より特別映畫公開
永樂町商品陳列館前　鮮活直營
中央館　電話三〇一四番



地方ヨリ御注文ハ
通信販賣部
洋品部　ワイシャツ　ネクタイ　洋傘　ショール　ステッキ　カバン　空氣枕　手袋　カラカフス
小間物部　半襟　リボン　[illegible]　鏡　御娘入[illegible]　帛紗　つちやたび　福助たび
五割　親切迅速　[illegible]

第一回香川縣人會
來ル二十日午後六時ヨリ旭町一丁目靜養軒ニ於テ開催[illegible]
香川縣人會　[illegible]電話五七三番[illegible]

生徒募集
第一學年生徒約七十名試驗ノ上入學セシム
詳細ハ[illegible]
大正十二年一月
京城府崇二洞
私立京城高等商業學校

新案
製縄機　大發明
本機は全國到る所大好評[illegible]
半價

歌の男會員募集
歌の女會員募集（御希望の方に規則書ヲ呈ス　郵券二錢ヲ要ス）
歌御會始の預撰の光榮者は毎年本會より多數出づるのでも一年位で誰でも立派なる歌人に成ます
東京麹町平河町
明治卅五年創立
日本歌道獎勵會

自働車蓄電池充電
電機器具販賣修理工事デアルミー修理販賣
イナツ商會　京城本町三丁目京城劇場下

朝鮮總督府認可
國產
風味高尚ニシテ品位卓越
滋養豐富ニシテ効果偉大

吟釀　堤貞之山

痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城明治町二ノ三　電話二三〇三番

高級食料
ランドン

（健康と精力と元氣）
鷄卵を主要原料として之に小麥及其他數種を配合せる一種のウドンなり
美味にして滋養豐富現代的高等食料品なり
二十一把入　貳圓　送料六十錢
十把入　一圓　送料四十錢
合資會社　京日代理部
振替京城三〇〇〇九番　電話[illegible]

（兒童保健相談所）
イケダ小兒內科病院
京城三越吳服店前へ入る南山町一丁目　電話（病室）[illegible]
院長　池田[illegible]　副院長　久保田[illegible]

寛永御前試合

第二〇〇席　小金井芦洲講演

高『お父上蟠龍軒殿には伴五郎の蹴り殺すまでは假令石に噛り付いても生きて居られると申されました、若先生にも是より速かにお戻りを願はしう存じます』伴『オヽそれは由々敷き一大事である……而てお父上には如何にしてその水上六太夫と申す者に槍を付けられたのであるか』此處で長谷川高野の兩人が交る〳〵蟠龍軒が槍を付けられたる有樣を物語る、蟠龍軒くらゐのお腕前の者が出來なさるお方は何うして容易に討果せるものではないが、蟠龍軒是も天命とでも申しませうか、爰に野州烏山の浪人で水上六太夫といふ人がある、此人は大岸武家の鞍馬たる弓術に達して居つて恐ろしき强弓を引

から擬いとも何とも思はない、その矢を引つ抜いて田圃の土を細長く掘つて蛇の中へ突き込んで置く、戰ひが濟んでそれなりけり蛇なんぞの事は悉皆忘れて居ると、翌春の程になつて太腿の以前の傷口から草が生えたなんといふお話もあります、頭迦其那事はございますまいが、何しろ遮那那時分の人は拼爭めをしない、サテ此の水上六太夫といふお方は實に傲慢無禮、傍若無人の有樣で、人を人とも思はないで唯しからぬ何ばかりする、劍術も少しばかり出來る、柔術も少しばかり出來る、馬の方にも多少心得がある、何でも武家の嗜みは少しばかり出來る、所謂萬能に達して一心足らずといふ、何でも來いの萬屋で而し肝心な事には弓術にかけては天賦の妙を得て居ると云つても可いくらゐ、此の烏山の藩中にて乃公位力

にて彼水上六太夫に匹敵する者がない、殊に身體は俗にフジミと申していくら人に打たれても痛まないといふ事もありますまいが、その痛みなところが直に癒つてしまふやうな筋肉の組織になつて居る、些とやそつと刀で斬られやうが、其那事は平氣なものだ、唾液を付けて置くと忽ち癒つて終ふ、つまり此フジミと云ふのは拼爭をしない身體でございませう、多くの人々の中には一寸針で突いた位の拼が拼爭になつて顔を顰めてウン〳〵唸つて在つしやるお方がある、是は拼爭をするお方で、此の水上六太夫といふ人の身體は刀で少し位斬られたからといつて格別害にならない、直ぐ癒つて終ふ、誠に重寶な身體でございます、少々餘談に渉つて恐れ入りますが、元龜天正時分の頃までは刀疵や鐵砲疵矢疵なんぞは屁とも思はなかつたと云ふ事でございます、大阪の戰ひなぞでは大分太腿へ矢を射られて矢が貫通したと云ふやうな人もある、然う云ふ時には明十である

鎗が有つて武藝の出來る者はあるまい、マヽ何んな大敵が來やうとも其那事にビク〳〵するやうな此の水上六太夫ではない、天下の廣大なる事を知らず、鳥なき里の蝙蝠で、乃公位强い者はなからうといふ自慢、傲慢が日々に募つて果は大酒を飲み、同藩の者に喧嘩を仕掛け、孰れもダニの如く忌嫌つて居る、向ふから水上六太夫が來ると皆んな道を避けて

外へ遁入つて終ふ、然れば當人は益々傲慢が募り乃公が强いから皆んな恐れて道を避けるのだらう、アヽ乃公位强い者は天下に二人とはあるまい、有れば何だらうなんてイヤハヤ手も付けられない有樣、然れば御前體の首尾も餘り宜しくない、座藩の朋輩が御家老へ御相談になつ

て『水上六太夫は力量もあり弓術にかけては先づ役人と云はれるであらうが些と人間が馬鹿のやうで自惚高慢があつて誠に不可ない、人を人とも思はざる甚だ怪しからん奴である、あゝ云ふ者を長く當家へ置いては如何なる椿事を出來いたさんも計り難し、早々暇を遣はしたが宜しからう』御老職方と御相談の上『暇召し放之永の暇を遣はす』といふ御沙汰　六『アハヽ〳〵ハツ、何の百石や百二十石の食祿に未練があるものか、乃公が出た後は烏山藩でも弓の師範をする人がなくなつて、若い奴等が弓の稽古をするに困るだらう、此處ばかりに日は照らない、乃公位の腕前があれば何處へ行つたつて二百石や三百石の高は貰ふ』

ハキモノ

姫そば引取締祭の協賛店
閉鋪には大英斷破格提供
一月十日より廿五日まで
正札より三割引
品物に限りがありますから御早く御出下さい
京城本町二丁目
松島屋

家庭療法

くさにドクダミの葉

子供の瘡や頭に出るくさにはドクダミが効きます。臥萎の葉を蕗の葉で三重か三重に包み爐の中へ十五分乃至二十分程入れておき、外側の黒く燒ける程度になつた時取り出して蕗の葉を解くと、葉は柔かく溶けてゐます、それを布の稜で紙に延ばしてくさに貼れば、膿を吸ひ出して乾き心地よく全治します。

將棋新手合（五）

於釜山鐵道倶樂部
△（八段）土居市太郎（東京）
▲（二段）中村德次郎（釜山）
（圖は前號指手迄の局面）
△持駒中村氏　香歩五
飛落

圖以下の指手
▲六二玉　△二三桂ナル（ヌ）△七五歩　▲七四香　△七六歩　▲同銀　△七五歩　▲四三角打（ル）△七六歩　▲七三香ナル　△同玉　▲六四角ナル　△同玉　▲六五金　△五三玉　▲五五金（以下次號）

講評　木七段講評
（ヌ）二三桂なるは面白からず三三桂なるの方强くして面白し
（ル）四三角打ち以下の寄手强くして面白し

一月二十日

（舊曆十二月廿三日）▲金曜日　▲戊子　▲四綠　▲暗劍辰巳　▲佛滅　▲鬼宿　▲閉

▼四綠▲始終騒々しくして心に暇なき日、新規計畫又は遠くへの旅行は見合せ
▼五黃▲何事も不如意がち損負けする日、新規取引は不利時節を待つが有利
▼六白▲概ね平穏なるも動もせば誤る日、新規取引は不利、午前中は凶午後は吉
▼七赤▲喜憂共に相半する日、何事も遠ひ生じ易き日
▼八白▲中途で拍子拔のする事ある日、控目にさへすれば結局利益となる
▼九紫▲意の如く發展する日、力を注げば注ぐほど有利、移轉、求職、結婚等吉
▼一白▲元氣潑剌たる日、禍ひ轉じて幸ひとなる、成るべく進んで吉、待人來る
▼二黑▲概して不運なる日、短氣にして友を失ふ日、吉と遊興を愼むべし
▼三碧▲世間の同情に依つて何事も都合好く運ぶ日、行商、就職、結婚等吉

ミシナ齒科醫院

院主　ドクトル三品敬吉
明治町取引所南隣角

◎醫學博士の姙娠及び避姙の研究

▲何うすれば姙娠するか
▲なぜ一生姙娠せぬのか

◎子のない悲しみ子の多すぎる嘆き、いづれも人生の大不幸である、醫學博士の大家ドクトル林太郎氏が多年研究せられた結果を

詳しく發表した『姙娠及避姙の研究』といふ書籍は世間有勝れた生殖器の說明など異り姙娠と避姙に關する博士の說明は親切詳細を極め日常誰にでも解りやすい本で、姙娠と避姙の原理を知る事が出來る、日本の醫學者は從來の學說を排斥し新マルサス主義を說明して避姙の必要を說明せる趣旨で殊に子の欲しくない人も是非此際御一讀あれ、傍ら本書により博士の教へを受けられよ

特價ケース入金文字入り三百頁正價金壹圓五十錢（送料共）東京神田區錦町一ノ二ノ八貳一號　前文十九號東京神田區錦町一〇一（振替東京六十七番）代金引換は送料共一圓三十錢（振替ハガキで注文の際は前金にて申受く）

りん病

宮子博士推賞

如何なる慢性もフシギに根治する無類の妙藥あり三錢切手送れば秘書を呈す
名古屋市中區流川町
多小栗作造

るいれき

百方の治療も効なく困難の人決して悲觀するなかれ、當院東京に於て唯一の療法を發明され、キラスヾ貫く治る、百年自製の專門藥
和歌山市片岡町
療癧專門藥院

▲多が來た▼
▲愈々投げ出した▼
優良毛布
眞の投賣破格の廉價
特大判二枚揃只の〇〇圓
古物やさきなら只で遣る

誰が聞いても二枚揃の毛布が只の値段では實際安いので又他の品物でも何でもない品は御拂底であるが此の毛布は純良なる品質で…（以下細字）
東京神田區黒門町
内外毛織物販賣所

名刺
京城本町四丁目
加藤商店印刷部
振替京城八六番

八木田博士推賞處方
島田博士推賞
アナタの胃病にはマーゲン
强胃消化錠
本劑の特色
マーゲンは獨式胃腸藥と異り其病源を根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を増し病的な胃を治し了る
大阪市東區上本町五丁目
田畑保榮房

の御返事もあらば、あすの子の日はともに千代もと祝ひ』かしくと申した風で、文筆を弄ぶものが、風流を主として艶書のやうに書き綴り、懸想文と言つて、賣らせたものなさうでございます。此のやうな風流なことの行はれました德川時代には化粧などに就ても、なか〳〵工夫されて居つたやうですが、到底現今のやうな完全した譯には行かなかつたこと〳〵存じます。現今では「美しい地肌にして初め

口阪東秀調曰く　お正月はつい二日醉をしたり、歌留多に夜更しなどをして、頭がぼんやりしたりするものですが、頭髮用香水のミツワ月の雫を頭の地にふりかけ、刷毛で擦りますと、澄んだ爽かさが頭の地に沁み、芳香が気分を晴々さまことにいたしまして、氣分が晴々しくなります。

ミツワ花の雫
浴槽に、洗面器に滴らせて、入浴洗面に快な添ふ家庭用香水
大壜　壹圓貳拾錢
小壜　七拾五錢

朗らかになります。

するやうに精製されてあるミツワ石鹸を專用しまして、此の石鹸獨特の秀れた作用を利用しますのが、一番美身法に有効とされてあります。なほ此節では一般の御婦人方の間に、ミツワ婦人湯薬を持藥にお用ひになることが勵行されて居りますが、本藥を常用いたしますと、血色が鮮かに肌の色艶が若々しくなります。

家庭治療法小山田醫學士編
特價金五拾錢を添へ御申込次第進呈

ミツワ家庭常識文庫十一

懸想文賣

顔を白布で包み
赤い素袍に赤袴

市村羽左衛門談

今はすたれてございませんが、昔は元日の丑の刻頃から、懸想文といふものを賣り歩く者があつたさうでございます。懸想文と申しましても、男女間の艶書とは違ひまして、其の始は細い檀紙の中に、洗米を三四粒入れましたもので、まだ結婚しない若い女が、良緣を祈るために買ひ求めたものなさうでございます。懸想文賣の扮裝は、布の赤い素袍を纏ひ、赤袴の裾を高くからげ、顔を白布で包み、立烏帽子をかぶつたものだと申します。懸想文の例を申しますと「かけひの水の解くるを便りに山の端の笑ひ顔もやと、なには の芦の短き筆を染めまゐらす。御ぐしは柳の糸のゆらく〳〵と出度く、宵のむらこの御もとゆひに（中略）梓弓引かばよらん

て、美しい化粧が施せる」といふ、化粧法の原則に從ひまして、先づ地肌を眞底から立派に整へますために、洗顔入浴の都度、日本人の肌膚に適

口市村龜藏曰く　寒さは申せ、お寒さの最中ですが、どんなお寒さの折にも、白粉のりがよく、化粧のある化粧振を發揮しますには、先づミツワ石鹸で洗ひ浄めまして、白ツワ御下として、芳香健膚藥のミツワ雪の栞を塗つて、やゝ指きましたところを、そつと拭きさつて、それからお化粧なさいますに限ります。

發賣品日錄進呈
東京橫山町　丸見屋商店

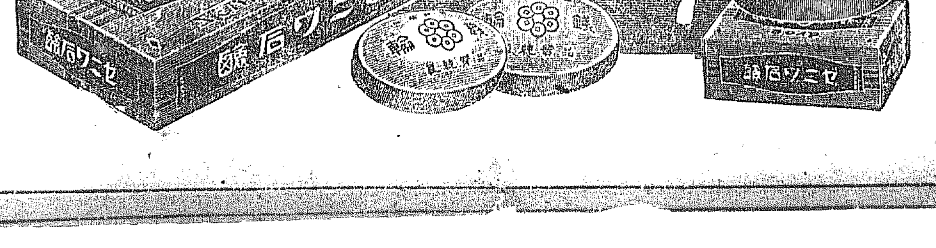
高級化粧料

ゼニワ石鹸

文化生活の糧として最高最純のゼニワ石鹸を推奨す

◇品質は……お顔のあれぬ
◇香りは……香水の如く

大日本大阪
ゼニワ化粧料 マトウ石鹸 本舖
東亞化學研究所



最後の勝利者

品質の優良、價格の低廉は何物よりも力强い武器であります。
味の素は此點に於て完備したる今や最後の勝利者となりつゝあります。
論より證據一度御使用あれ……瓶入より罐入がお徳です。

原料は小麥

味の素

全國至る處の食料店にあり

東京　鈴木商店　大阪

客臘清津貿易
百十萬餘圓

十二月中に於ける清津港の移出は三十七萬五千二百五十五圓、移入は四十二萬九百二十一圓合計して百十萬七千九百三十圓にして前年同期に比し…

鑛業所移管期

…より總督府に移管せらるべき事となり…一月一日現在同所の財産は…

營口通信

▲十三日の厳寒　十日頃より高氣壓…
▲遼河に就て講演　十五日夜公會堂に於て…

元帥は上原元帥の舊友で 中尉時代の工兵課の友達

…少佐を山陽ホテルに訪へば流暢なる日本語にて語る …のみで日本へは初めてゞある夫人は二度目の夫で合嬢も連れ子で今廿… …められる事であらう一行は二十日横濱上陸二週間東京に滯在後大阪奈良…

綿絲布取引方法 既設組合の擴張

京仁綿絲布市場は目下北部に設置準備中なるが右市場は現在京仁綿絲布組合員を以て組織せる木曜會を以て現物取引を實行しつゝあり右木曜會を擴張するものにして既に定款其他の準備完成し居り殊に株式會社にあらざるを以て創立總會、資本金拂込等の複雑なる手數を要する事なければ其筋よりの許可次第直に開場し得るものなりと而して同市場に於ける取引方法左の如し

一、組合員の賣買取引は本組合の認定する市場に於て行ふものとす
一、市場に於ては賣買受渡の目的を以て賣買取引をなすことを得ず
一、組合員は綿絲布の販賣を爲すもの其他特に綿絲布現物の取引を必要とする者以外の者より市場に於ける賣買の注文又は委託を受くることを得ず
一、組合員は資力の許す範圍に於て取引を爲すことを要す組合長は場合に依り組合員の取引額を制限することを得
一、市場に於ける取引は綿布同加工品綿絲布同加工品綿花に限る
一、取引は現物取引及延取引として總て當事者の相對賣買とす
一、市場に於ける賣買は本規約に定むるもの、外京仁綿絲布市場組合賣買規定の定むる處に依る

く一般綿絲布商業の行はれん事を期するなり殊に同組合の目的が單なる綿絲賣買を主眼とせず綿絲布界及び一般公衆の爲に融金せんとするは眞に內鮮綿絲界の融和をなす者として好感を以て迎へられ同組合は現財界の中心地たる大阪の有力者を背景に持てるのは何處の點より見るも同社の前途有望なりとの觀察有力となりつゝあり

肩代値段 算計餘金處分如何

京取仲買人組合の殘株一萬三千株は愈川崎筋に於て肩代りすることに決定したるは既報の如くなるが値段は川崎側は債權會社の殘株百十六圓の肩代りなりと主張し仲買委員側は百二十圓なりと唱へ居りて結局肩代り値段を百二十圓とすれば差額約六萬七千餘圓（纔に肩代りの四千二百株も加算して）の處分を如何にすべきかにあるが仲買組合側はシ團成立當時に於ける仲買組合の出資金十四萬五千圓に充當したき希望あり川崎側は同氏等の出資三十三萬圓は擔保株の意味なれば六萬圓に對しては優先權を持する者なりとの主張にあるが如く何れにしても上旬中の川崎氏の歸城を待ちて穩當なる處置をなし得べき見込ありと

朝鮮勸業 人氣漸く集中す

朝鮮勸業株式會社は一時發起人間に內訌を生じたるも其後糟谷左の行き違ひは氷解し在鮮內地人有力者は發起人として立たざるも裏面に於て同社の事業の趣旨に賛意を表し成立に就ては飽迄も援助を惜まざるべき意氣込なるが如く一方在鮮人側の有力者の意氣込は非常なるものにて即ち大阪側有力者が參加せるは三郞氏の如く實業界及び政界の有力者が當初の資本金五百萬圓を優に引受けると人氣集りつゝありとして千萬圓として腰入れせるは期か同社の前途に對し何等か確信あり打算あるものと思惟さるゝに充分なりとて同社は開業二三ヶ月もせば何等か割目に値する活動をなし來るべしとは多數人會合の席上常に話題となる所にして殊に鮮人側は同社設立には不足を告げ內地側は期の關係上當初から然たりし關係上今や開業を見んとして後れ馳せの申込殺到しつゝあり

興銀總會

日本興業銀行は二月六日株主總會を開き配當九分を一割に增加するの案を附議する筈なるが利益金處分案左の如し（東京電話）

當期純益金　四百九十八萬一千八百八十二圓
前期繰越金　五十七萬三百四十六圓
合計　五百五十五萬五千三百四十八圓
內
欠損補塡積立金　七十萬圓
配當平均準備金　三十萬圓
第一配當金（年五分）　百十七萬八千四百二十四圓
重役賞與金　十三萬圓
第二配當金（年五分）　百十七萬八千四百二十四圓
後期繰越金　五十七萬四千八百九十九圓

京電今期業績

京城電氣株式會社今期（第二十七期）營業成績を聞くに電燈收入百六萬九千圓電車收入七十萬九千圓瓦斯收入二十四萬七千圓雜收入二千六百圓計二百萬七千六百圓支出百三十八萬八千圓差引純益六十二萬九千六百圓にして前期純益金に比し二萬九千圓を增加せるが右は經費の節約と電燈の增設及電車收入の增加に因るものにして今期末電燈數は十萬二千燈を算して三十三萬燈に上り前期末より二萬二千八百燈を增加し瓦斯は供給量三十萬立方呎にして前期に比し殆ど變はりなく電車收入は一日平均三千八百五十七圓にして前期に比し一日二百五十五圓の增加なり純益金右の如くなるを以て今期も前期通り一割二分の配當は確實なりと

仁取名義書換 誤解者多し

最近仁川取引所に向け新株の名義書換への事に就いて問合せ來る者多きが伯し曩に廣告せし名義書換へは臨時總會に對する停止にして新株の配當には關係なきのみならず二十九日の總會にて其日限を決定なす筈なるが多分二月二十八日までに名義を書換へせし者へ配當するに略內定せる模樣なり

東拓製糖開始

東洋拓殖會社は豫て我委任統治區內の南洋諸島に於て甘蔗栽培を試み昨年既に白下糖を製造して販路を求めて居たが本年は植付面積も擴張したので製糖業を根本的に確立する必要がある結果同社は盛に分蜜糖七百五十噸製造能力の製糖機械を獨逸に註文した同機械は本年秋頃迄にサイパンに到着据付を了する筈で本年十月頃よりの製糖作業に齎開へない程度に運轉を開始せしめると

無盡金融會社計畫

京城に於ける頼母子講は現在千五百組講員二千七百名に達し一ヶ月の掛金約百五十萬圓に上り中流階級以下の者の最も便利なる金融機關なるが講金の融通を受くる者は僅に其一部分にして非難を受くる點には落札上種々なる缺點ありそれが緩和に着眼し未落札者に對し掛金に應じて金融の方途を講じ目的と一種の融資機關を企つる云ふべき擬會社京城興徴會あり五萬圓を設立して本町二丁目に於て木宇之助氏方に事務所を置き今日同會の營業は頼母子講五十組にして資本金は二十萬圓規約拂込金五萬圓を以て有興徴會事長高橋宇吉、同專務木村熊太郎、北村武太郎、有賀光豐、高橋章之助、谷口林吉諸氏の協力により資本金二百萬圓若くは五百萬圓の株式會社組織の融資機關とならば同會は餘地多大なるを以て創立を希望し居り來月末開催すべき總會に於て右計畫を發表する筈なり

朝郵鎭仁間休航

朝鮮郵船會社にては結氷期に入り航海危險なるを以て鎭南浦仁川間休航すべきが故に朝鮮線に於ても同航路の鎭南浦鎭仁間各驛行連絡貨物は當分の內受託を停止すと

漢銀店長會議

漢城銀行にては既報の如く十三ヶ所の支店及び出張所長を招致し本日午前十時より本店樓上に於て每期定例に依る支店長會議を開催せるが開期は本日より三日間の由

火災地方會例會

火災保險地方會にては十七日午後一時より京城商業會議所に於て例會を開き本年度の方針に付協議せり

湖西銀行總會

忠淸南道論山湖西銀行にては去る十五日第十七期（大正十年下期）定時總會を開催したるが當期利益金は前期に比し增減なかりしも預金に於ては六十七萬七千圓にて約三割三分の減少を見貸出に於ては百六十七萬九千圓にて一割六分の增加を示したりと

元淸間代船運航

朝鮮郵船會社にては元山淸津間に就航せし鏡城丸を代船として平壤丸を元山淸津間に就航せしむることゝし其期限を一月中旬と定めしが都合に依り二月中旬迄延期す

朝鮮運輸聯合會

朝鮮運輸聯合會にては十七日午後三時より朝鮮ホテルに於て役員會を開き十九日總會開催に關する附議し大和會長より朝鮮運輸計算會社設立に關する經過報告ありたり

京畿穀物檢査成績

大正十年十二月中京畿道に於ける穀物檢査成績左の如し

▲玄米檢査總數八八、五九四內不合格二六〇四 ▲中白檢査總數二六一三 ▲大豆檢査總數八三、七五七內不合格八一、七三一 ▲輸移出玄米檢査總數七二、八五四內不合格二〇內不合格一四 ▲仁川輸出玄米檢査總數一八四五六 ▲輸移出中白米檢査總數二四六內不合格無し ▲仁川輸出中白米檢査總數七四、一一二一九六內不合格一九四二 ▲仁川輸出大豆檢査總數九、五六一內不合格八四以上

肥料界鈍重

肥料界は定期米が相變らず不活潑な上に地方筋は依然として買氣を催する爲め商談鈍重の商狀を呈し海外硫安二三圓積百四十四圓五十五錢近入物百四十一圓肥料硝酸不安洋丸物百二十五圓洋丸百二十四圓を唱へ保合に居れるが目先手探筋は買腰漸次濃厚となりつゝあれば多少の下押しは免れざるもの、如し

株式【十八日】

現株市場出來値

銘柄		前場今週中	前場來週中	後場今週中	後場來週中
京取	寄	二三、五〇	二三、八〇	二三、八〇	二三、七〇
	引	二三、〇〇	二三、六〇	二三、一〇	二三、〇〇
仁取	寄	二六、五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
鮮銀	寄	二〇、五〇	…	二〇、五〇	…
同新	寄	四〇、〇〇	…	四〇、〇〇	…
殖銀	寄	五五、六〇	…	五五、七〇	…
同新	寄	二六、五〇	…	二六、五〇	…
貿銀	寄	八、〇〇	…	八、〇〇	…
商銀	寄	四九、〇〇	…	四九、〇〇	…
同新	寄	三二、〇〇	…	三二、〇〇	…
漢銀	寄	三八、〇〇	…	三八、〇〇	…
同新	寄	八、五〇	…	八、五〇	…
鮮銀	寄	三六、〇〇	…	三六、〇〇	…
東拓	寄	二五、五〇	…	二五、五〇	…
同新	寄	二〇、一〇	…	二〇、一〇	…
鮮土	寄	…	…	…	…
朝紡	寄	三、四〇	…	二〇、〇〇	…
滿毛	寄	一四、八〇	…	一四、八〇	…
京電	寄	…	…	…	…
同新	寄	四四、〇〇	…	四五、〇〇	…
電興	寄	…	…	…	…
朝郵	寄	三八、〇〇	六〇、〇〇	三八、〇〇	…
殖鐵	寄	八、五〇	…	八、五〇	…
中鐵	寄	三九、〇〇	…	三九、〇〇	…
滿鐵	寄	二〇、〇〇	…	二〇、〇〇	…
同新	寄	四〇、五〇	…	四〇、五〇	…
東電	寄	三、一〇	…	三、〇〇	…
同新	寄	八、五〇	…	…	…
京信	寄	二六、五〇	…	二六、五〇	…

乙の部

銘柄		前場		後場	
安取	寄	四〇、〇〇	四〇、〇〇	三九、八〇	三九、五〇
	引	…	…	四〇、〇〇	四〇、〇〇
大新	寄	二六、〇〇	…	二七、五〇	…
上取	寄	四〇、〇〇	…	四〇、〇〇	…
新東	寄	二三、〇〇	…	二三、〇〇	…

短期取引

銘柄		寄付	大引	高値	安値
京取	前	二三、五〇	二三、三〇	二三、五〇	二三、三〇
	後	二三、八〇	二三、八〇	二三、八〇	二三、八〇
仁取	前	二六、八〇	…	…	…
	後	…	…	…	…
大新	前	二六、〇〇	二六、五〇	…	…
	後	二七、〇〇	…	…	…
滿毛	前	…	…	…	…
朝紡	前	二〇、五〇	二〇、五〇	…	…
	後	二〇、五〇	…	…	…
鮮新	前	八、六〇	八、五〇	八、六〇	八、五〇
拓新	前	…	…	…	…
安取	前	三九、五〇	三九、六〇	四〇、五〇	三九、五〇
	後	三九、〇〇	三九、八〇	三九、八〇	三九、五〇

高來出

甲部	三千八十枚
累計	六萬六千二百三十枚
乙部	六百二十枚
累計	三萬三千三百六十五枚
短期	六千九百枚
累計	十七萬九千三百三十枚

日歩

京取	朝紡	三〇
仁取	亞新	一、〇〇
大新	拓新	……
滿毛	安取	四〇

東京現株

銘柄	十八日前場	十七日後場
鮮銀	一三七、五〇	一三七、六〇
同新	一三九、五〇	一三九、五〇
東拓	一五一、五〇	一五一、四〇
同新	一一〇、〇〇	一〇一、〇〇
滿鐵	一二七、〇〇	一二七、〇〇
同新	一二五、〇〇	一二五、六〇
殖銀	一五五、五〇	一五五、四〇
同新	一五五、〇〇	一五五、〇〇
東株	一四八、六〇	一四九、七〇
同新	一二六、一〇	一二九、二〇
運取	八二、〇〇	八二、〇〇
滿毛	一四八、〇〇	一四四、〇〇
朝紡	一六、〇〇	一六、二〇

大阪株式

銘柄	十八日前場寄付	十七日後場大引
大株	一六〇、〇〇	一六〇、六〇
同新	一二九、一〇	一二九、八〇
郵船	一三三、〇〇	一三三、八〇
同新	…	…
商船	四九、五〇	四九、八〇
同新	…	…
鐘紡	一八、六〇	一八、五五
同新	三五〇、一〇	三五〇、一〇
東紡	一三〇、二〇	一三〇、七〇

大阪延取引

銘柄	十八日前場大引	十八日後場寄付
大株	…	一六〇、三〇
同新	…	一二九、八〇
郵船	…	一三三、七〇
同新	…	一三三、〇〇
商船	…	四九、三〇
同新	…	四九、八〇
鐘紡	三五〇、〇〇	三五一、六〇
同新	三四三、三〇	三四五、〇〇
東紡	一三〇、九〇	一三〇、〇〇

安東株式

○十八日前場	寄付	大引
大新	一二七、〇〇	一二六、五〇
鐘新	三三九、九〇	三三九、五〇
天取	七〇、五〇	七〇、三〇

○十八日後場	寄付	大引
大新	一二八、〇〇	……
鐘新	三四三、〇〇	……
天取	七一、九〇	……

	寄付	大引
○十七日後場 安取當	四一、九〇	四〇、〇〇
先	四二、〇〇	四一、〇〇
○十八日前場 安取當	四〇、〇〇	三九、五〇
先	四〇、〇〇	三九、六〇

前場寄安跡高

昨後場寄高引安の綱りたした揚句とて今朝はマバラの嫌氣投げも添ひ短期十一圓五十と九十錢方下鮫れたが突込んだ處は押目狙ひの買物を喚んで跡二圓五十錢と反撥し更に七八十錢より三圓と付けたが此の後場前輔の利喰急ぎとなり三圓五七十錢處を揉み合ひ結局二圓六十錢と手堅く打止め今週も一圓五十錢と寄付跡八十錢より二圓十錢と飛び八十錢ありて十錢と來週十二圓八十錢に寄り跡二圓と引上伸して三圓九十錢と引値見當まで引返した安取は三十九圓二十錢と寄り五八十と伸び四十圓二十錢を高値に三十九圓八十錢と引けて保合仁取は八十錢方小強み朝紡一圓四十錢方下押した

後場同一步調

前場寄安尻高の步調に保合を呈した京取は後場も依然同一步調を繰返した短期一圓八十錢と寄り二十錢と伸び三十錢と引け今週一錢と寄り二圓ありて三圓と來週十二圓六十錢と引け全然同事を示し安取も短期三十九圓と寄り九圓三五十錢處を揉み引際チリチリ引締り九十錢と引け之亦同步調に了り其他も大同小異の保合を呈した

京取は地固め

京取は一吹き吹いたかと思ふと忽ちダレダレたかと思ふと又ムクムクと頭を擡げマバラは其去就に迷はされて居るがコワ未だシ團の肩代りが濟んだと云ふまでゞ此の玉が如何に處分さるゝかの見据えが付かぬのみならず之れを引受けた川崎の今後の行動は注目に値するが之れも未だ具體的に活動を開始した模樣もなく愈々此の大玉を基礎としての策動が開始さるゝまでは漫然たる安心買の域に達せざる結果とも見らるゝが京取其者としての眼先は諸種の曲折あるものと觀測されて居る如く何等悲觀すべき材料は無く京信新仁取新株等の上場と共に新たな花形株の增加となつて出來高は一層激增する望みあり又新規に許可の指令に接した各仲買も開業準備に忙殺されて居ることなどは孰れも強材料に數へらるゝ有樣で一般の人氣も將來高の念は一致して居る樣子であるが散派は內地の情勢が振はぬのを唯一の弱材料として吹値吹値と賣つて居る形跡があるから內地の高狀が持直さぬ限り一本調子の昂騰は許されざる事情あり此の邊一高一低を繰返して地固めを了れば相場は當然上のものであらうと見られて居る野線家に云はせても京取の保合は必らず三四度の押目を作つた後に上げて居ると云ひ今度も四千二百株の肩替りで吹いた後の下げがあり川崎の居替りで二度の押目を作つて居るから既に保合岐れの期も迫つて居ると觀測されて居る

安取下澁る

上がり値の半値落しで保合つて居る安取は四十圓見當の往來を繰返して居るが此の邊新規買の衰へた頭りに下げ澁つて居ることは一般の見る處は必らず前高値に顏合せするものと見て投げ措んで居る結果と見られ從つて上にも下にも行き兼ねた形であるが若し一吹あるものとすれば其口には又ヤレヤレ賣りや値惚れ賣りが殺到するから意外の反落を演ずるだらうと見られて居る然しながら買方にして今一步腰入れを深めて之等の賣物を平らげ夫れから大體が玉カスレになつて値惚れの案簿を離れさするまでに玉を縮むれば五十圓突破は問題でなからうと云はれて居る

大阪株式取引所仲買人
株 象龍太郎商店
大阪市東區北濱一丁目
電話本局 八八八八 八二三三 二二二二 四六七九 …

ホにむ經濟雜誌無代進呈

大阪堂島米穀取引所仲買人
米 象忠次郎商店
大阪市北區堂島濱一丁目
電話北 一六三 一二七 二五

主要株歩み値

	前場	
京取（今）	二三、五〇	二三、八〇
	二三、〇〇（來）	二三、一〇
	二三、〇〇（短期）	二三、〇〇
安取（短期）	三九、二〇	三九、八〇
	四〇、〇〇	四〇、一〇

京城株式現物組合員
有價證券現物賣買 株式金融 低利
越後屋商會
京城明治町二丁目 電話長四二七 振替京城一〇三八番

內地疲勞狀態

新春以來諸株を通じて稍々買進まれたる高値の警戒心から利喰に一と息きの押を見せたが相場の高かつた事が全體に樂觀的傾向となつて押した跡は高からうとの氣分が尙は市場に潜在して居るので相場は何處となく下澁りの形で保合つて居る大株鐘紡十圓安を見せたので月末の反撥を見越した押目買に望みを賭して居るもの頗る少なくないと言ふべき道程にあるもの直り相場と言ふべきものとせば已に新春以後買上げた半分も押した相場なれば此邊で今少し相場に彈力あつて然るべき順序にも見られるが事實は反撥力の鈍ぶいのと主力株を始め一般諸株の依然惡い處を見ると所謂押目買相場の色彩も漸次其影の薄らぐのではあるまいかの形勢にあるが之も畢竟新春と共に內外の事情を達觀して買つては見たもの、物もないので一時は相當に買ひ付いたもの、相場は自然氣波れの姿となり一部に強氣說が主張されても實際に現はれない證據とも見られぬ事もあるまい斯くて市場は始めて口程に現はれない買物の鳴りを鎭めて居るので一般人氣が一變する處がなければ買の順にならぬのかも知れぬ

京城株式現物市場仲買人
大阪京城兩市場取引
新田耕市商店
京城黃金町二丁目市場構內 電話長五七〇番 一九六番

米況【十八日】

仁川期米 前場鈍調

昨後場は阪地の手堅き移りに連れて三十一圓三十錢臺に跳返し二十八錢と手堅く打止め折柄引跡人氣の強硬に今朝は買氣を阻止し立會へば當中出來ざるも先三十一圓三十八錢と前の止値より十丁高に寄付
▲第二節 當中出來ず中五十錢先三十一錢に始めしも大阪寄三十七圓十一錢と前が二丁高を入れしより忽ち小口の賣物を呼びて二十三錢と押し買氣かす二十八錢と頭重く引
▲第三節 當中出來ず先二十七錢より買方の防戰に三十錢と小戾しせしも五六錢の持合ひに引
▲第四節 大阪跡締薬の安噂に當中出來ざるも先二十五錢より二十錢と押し一錢と次第弱りに引
▲第五節 當中出來ず先大阪の三十一圓丁度を入れて二十錢より十四錢と押し七錢と氣乘薄に引
▲第六節 當中出來ず先十九錢より二十五錢と引締り一錢と小口賣物に頭重く大引せり

正米稍見直す

阪地期米の不勢と移出商談の不振なる爲正米氣配下値り動もすれば一反段以下の賣勢によりて一層出廻りを阻害せられたるが爲めにして尙其上接近に伴れつゝあれば正米としては如何にも下値淋しき感じあり殊に阪地方面には定期の如何を論せず熾んに買進み開き合格新米の三十圓四五十錢處より上は弗々買ひ氣を催はし一時大阪沖に於ては三十六圓見當にも買關群なり人氣を持直さんかとの觀測もあり

日先材料薄

初會當時と現在の仕手關係には左したる異動なく東客筋は相變らず克く握り腰に手を持つて居るが阪地方面のもの、摘み三十一圓四五十錢處まで跳返され付いては忽ち足腰の立たざる樣になるもの擬するは依然押目買ひを繼續しつゝあるのは目先材料なしの相場丈けに尙此邊の保付は餘儀なかるべし

賣買差引殘

賣方		買方	
角ナ	二〇〇	丸イ	二〇〇
丸ト	一三四〇	丸マ	六〇〇
丸コ	一七〇	金太	一五〇
丸ウ	二〇〇	力	一〇〇〇
入山	一三〇〇	三引	五〇〇
丸カ	二〇〇	又丸	三〇〇
山吉	一一〇〇	丸北	二〇〇
丸吉	一四〇〇	丸龍	二九〇〇
山丸	六〇〇	丸ノ	一〇〇〇
金	二〇〇〇	丸合	二七〇〇

後場上向く

	十八日前場	十七日後場
寄付	三一、三八	三一、三〇
止値	三一、二八	三一、二八
高値	三一、三八	三一、三三
安値	三一、一四	三一、〇〇

公定値	前場	後場
一節	三一、三八	三一、三〇
二節	三一、二九	三一、〇〇
三節	三一、三〇	三一、二〇
四節	三一、三七	三一、二八
五節	三一、三三	三一、二七
六節	三一、三三	三一、二七

帳入値段　當限 三一、八〇　中限 三一、五〇　先限 三一、三二
取引高　八萬七千九百石
出來高　一萬二千五百石
累計　一七〇三七〇〇石

第一節 當中出來ず大阪後寄三十六圓二十錢の移りにて先三十一圓三十三錢と十二丁高に寄付
第二節 當中出來ず先一圓三十錢と始めしも大阪の跡高を聞に五十錢と跳取四十三錢引公定四十一錢
第三節 當中出來先四十五錢より二錢と押し九錢と返し七錢引公定四十八錢
第四節 當中出來ず先四十九錢より四十五錢引

京城穀物

前場延取引

玄米 內地米貢收の悲觀に並び途の供給不足を自覺しながら外米安と輸入增加の兆候ある上定期渡米の代用說さへ傳へられ其外何種々の軟材料行居れる際とて何れも深入を避け長期思惑を危險視されつゝあるのみならず現在に於ても各地正米聯かりの期上足鈍く眼先保硬堅正を控へ天候恢復後の出廻り期待もありて眼先商內さへも手控られ相變らず人氣引立たず場面は自然無味乾燥に陷り逐日小刻み滴內に推移しつゝあり

歩み 二月中限三〇七四 七五算定七〇▲二月末限 二二算定二〇▲三月中限三二二五 三〇 三一算定三〇 出來高一五〇〇石

大豆 今朝は延安大豆八百叺仁川倉渡し十四圓十六叺十四圓丁度にて出來し其他雜穀一般に持合ならが底意軟弱なり

滿洲粟 前途米の供給不足と高値を見越して滿洲粟に着目し既に弗々輸入を企てつゝありしが去る一日より十五日に至る新規到着品は一萬二百六十袋に上り在滿高に增加の模樣あり氣配は稍れ騰念に軟調を呈し今朝は遼陽小口物十四圓二十錢に出來せしも茲大口投げ物もあるらしく繰り物は一般安唱へなり

正米現物 各地正米喚かり移りながら妓許在米の增加と精米筋の買控へによりて頭重く三等合格三十圓六十錢を唱へ居れるも白米移出目は大阪神地揚玄米上三十八圓五六十錢の持合とする三十六圓五十錢見當迄賣應せん等の精米筋の弱腰と相俟つて相變らず軟弱の氣合みなり

在米激增す

本月十五日現在の京城在庫穀物高左の如し其內白米は舊臘下旬に比し百三十餘叺糯四百七十叺の減退を示せるが年末年始の廻米多かりしと元來一月は白米不賣の月なる上各地米穀の關係等にて精米筋一齊買控へ方針を取り來りたるが爲め玄米は一萬五千餘叺の激增を示せり
玄米二一〇四九叺▲白米二六二叺▲糯一八八叺▲大麥一〇四八二四叺▲籾二〇四叺▲大豆七三五叺▲小豆一八四〇叺▲糯白四三四叺▲胡麻四五叺▲綠豆一六五叺▲粟九九二袋

仁川正米

鮮人筋の思惑買を喚起せる地場正米は三等合格三十圓六七十錢地揚玄米二十三十圓八錢六七厘古米二十七圓より上物七十錢見當を唱へ居れるも賣人拗なく商內閑散ながら底堅き商狀なり

仁川米豆取引所仲買人
吉金仲買店
電話長八三番 八五番 長七六四番

釜山正米

双方見送りに靜りたる商內なく必需口に精米筋に買ひ氣ありて強保〇の慶北三等改良三十一圓八十錢同神力三十一圓三十錢處にて一千三百叺の商內ありたり
大豆は正米に伴れ強保合の十四圓四十錢處にて三百六十叺の商內ありたり（十八日）

群山正米

二月末限三十一圓二十五錢三月中限一圓三十八錢現物三十圓二十錢

仁川 福 期米

東京期米

	十八日前場先限	十八日後場先限
寄付	三六、〇九	三六、一三
二節	、一〇	、一三
三節	、一〇	、〇九
四節	、〇六	…
五節	、〇〇	、二四

仁川米豆取引所仲買人
廣澤正次郎
仁川海岸町三丁目 電話長六五〇番 一二〇番

大阪期米

	十八日前場	十八日後場
當寄	三六、六一	三六、八五
止め	三六、七七	三七、三五
中寄	三七、二〇	三七、三五
止め	三七、三四	…
先寄	三七、一一	三七、二〇
二節	、〇一	、一六
三節	、〇五	、三四
四節	、〇四	、二〇
五節	、〇〇	、五〇
六節	、〇二	、五九
七節	七、〇〇	、五六
八節	、〇八	…
九節	、一六	…
十節	、一三	…

仁川府海岸町三丁目
桑野仲買店
電話長三九番

兵庫期米

	十八日前場	十八日後場
寄付	三六、一六	三六、二〇
止め	三六、二九	……

仁川
鳥居仲買店
電話六三八番 六八番

下關期米

	十八日前場	十八日後場
當限 寄	止め	寄付
中限	……	……
先限	三五、一五	三五、一〇

各地期米

○十七日前場止め
東京 三五、九五
兵庫 三六、二四
桑名 三四、七三
熊本 三三、五五
大阪 …
下關 …
名古屋 三五、二九
金澤 三四、一五

仁川仲町三丁目八番地
日日高屋現物店
西川竹之助
電話一二五〇番 振替京城一〇三四四四

大阪三品

倫敦銀塊相場三十五片　米棉出來不申

	十八日前場寄付	前場大引
一月限	三六八、七〇	三六八、五〇
二月限	三六五、八〇	三六五、八〇
三月限	三六六、二〇	三六四、〇〇
四月限	三六三、三〇	三六三、〇〇
五月限	三六〇、〇〇	三六〇、〇〇
六月限	三六〇、三〇	三六〇、〇〇

	十八日後場寄付	後場大引
一月限	三六九、〇〇	…
二月限	三六六、〇〇	…
三月限	三六四、〇〇	…
四月限	三六一、〇〇	…
五月限	三六一、〇〇	…
六月限	三六〇、〇〇	…

日銀報告

十四日現在左の如し
發行高　一二〇三、三六
正貨準備　一二九八、三四〇
發行餘力　九四、三六六
貸出高　一二六六

朝鮮銀行券

十六日現在左の如し
發行高　一二三一、四二四、三六六
正貨準備　四七、七八一、四八八
限外發行　二三、七〇〇、八七一

京阪金利

十六日左の如し

	東京	大阪
コール	二、	二、〇〇
無條件	一、〇	二、〇〇
翌日物	一、	一、九〇
六十日物	…	…
普通割引歩合	二、四五〇	二、四〇

物品購買公告
一、理科器械標本其他
一、入札 一月二十五日前十一時
右入札ニ附ス詳細ハ當組合前ニ掲示ス
京城學校組合

職業 拾參圓
器具一切寄附 五十枚熟練 宅座敷で手輕に出來る美な 郵券八錢申越しあれば年中無休見本規則書送呈 各地特約店募集
東京市本所區兩國回向院前 一葉總本店

仁川 上城酒造場

商報進呈 タイヤ 自轉車 附屬品
卸商 木村商店 大阪北區曾根崎町三丁目

文房具、測量器械、寫眞機械、和洋紙、帳簿、運動用具、度量衡器
平壤府大和町 芳川樂浪堂 電話三四一番 振替京城二〇一

結核專門 古賀病院
九州線鳥栖驛ヨリ四丁 電話鳥栖五十番

▲李王職御用 ▲鐵道病院御用
橫濱 全乳
太田驛上獸醫場 東亞牧場（電話二五番）

西洋種山羊乳ハ活氣ヲ增シ肉體美ヲ發揮スル一般醫界ニ於テ試驗セラレ其効ヲ證明セリ
京城府獨立門通リ
山羊牧場 電話一七七二番

新案耐水調革
朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行
京城南大門外 白神洋行支店
新田帶革
新案ハラタ調帶

最新刊
自然と文化との諧調 一、四〇
精神分析學 一、六〇
旅と私 一、〇〇
水の渦 〇、八〇
うづしほ
人の妻
山と水
ABCの讀み方
鮮滿の經營
大正十年度職員錄

京城 大阪屋號
振替京城二五七三番 電話一八六八番
（本店）東京日本橋區 （支店）大連浪速町 釜山

誰れにも出來る 一萬圓貯金法

獎勵金三千圓贈呈

衆議院議員 高柳淳之助

▼金の必要

地獄の沙汰も金次第、阿彌陀も金で光る世の中。昔も今も金の必要な事に變りはない。我々實業家は金は何よりの武器で、これが無ければ仕事は何も出來ません。官吏や軍人は金は入らぬ筈ですが、それでも首を切られたら如何すべきかと密に心配してゐる樣では仕方がありますまい。要するに貯金は何人にも必要のものである。

▼貯金の方法

然るに世人の多くは金は容易に出來ぬものだと獨りで決めて仕舞つてゐる。これ間違つた話である。今誰にも出來る一萬圓貯金法が茲にある。夫れが頗る確實な方法である。然も苦勞も心配も入らず、何等の無理もせずに一萬圓出來る方法である。勿論、株や相場の樣な危險な方法ではなく、さりとて又私が其金を預かつて利殖して上げようと云ふのでもない。要するに郵便局に貯金をなし、少し纏まつたら之を最も確實な方法で利殖すればよいのである。

▼私が經歷

でないから定價が安いのである。私は何を隱しませう。茨城縣の片田舍の貧しい百姓の子です。十七歲から八年間郷里で小學校の教員をなし、廿四歲の時に無一文で上京してからは苦心慘憺、種々の職業に從事し僅かばかりの利益を儲けては之を貯金しつゝ資本金を作り今日已に一百萬圓の資産を築き上げました。其の間先輩の指導がありたでもなく又一度に何萬圓と云ふ大金を一擧して儲けた事もありません、要するに皆これ粒々辛苦貯金の賜である。して見れば一萬圓位の貯金は誰れにも出來ぬ筈はありますまい。

▼社會奉仕

それから私は幾分でも社會公益の爲めにもと考へまして、先づ郷里の小學校に一萬圓を寄附せしめとして各種の寄捨も致した爲め昨年五月勅定の紺綬褒章を授けられ、又有志諸君の御盡力により衆議院議員にも當選すると云ふ名譽を得ました然し私の抱負は政治よりも實業です。今まで苦心した經驗により前記の樣な一萬圓貯金法を考案し社會奉仕の爲め廣く之を世に宣傳する次第であります。

▼利益八千圓

然らば諸君は每月何程の郵便貯金を爲すべきか、又何圓出來たら如何なる方法で之を利殖すべきかが問題である。これは私の發行する東京貯金新聞を見れば忽ち明瞭に分る譯であるが、要點だけ申せば貯金する金高は每月五圓で、利益が八千餘圓となる計算である。利益が八千圓以上とは餘りに大きい話の樣であるが、然もこれは眞に確實な方法である。

▼貯金新聞

これは私が貯金宣傳の爲めに發行する新聞であつて、此の一萬圓貯金法を詳說し且つ獎勵金三千圓を提供し何人でも每月貯金を實行する人々に分配贈呈するのである。此三千圓の出所は私が代議士として國家より受くる年俸であつて、今度之を貯金獎勵の爲め提供した次第である。それで貯金新聞は一枚僅か三錢半年分送料共廿一錢一年分僅に四十二錢儲ける考へ

▼一錢五厘

然し世の中には類似の方法で詐欺に似た事をしてゐる者もないではありません。殘念な次第でありますから今回東京貯金新聞第一號を見本として一萬部限り無代進呈致します。御遠慮なく一錢五厘のハガキで御申込下さい早速御郵送致します。そして內容を御一覽下さいまして私の說く所が如何に眞面目であり又其貯金法が確實なものであるかが誰にも御分りになつたら引續き本紙の愛讀者になつて下さい。そして獎勵金三千圓の抽籤にも當つて下さい。私は只管其れを祈ります。後では忘れて仕舞ひます今直ぐハガキを書いて御申込下さい

東京市神田小川町二六　貯金新聞社
（振替東京二八〇二番）電話神田（三）一三八〇一番

浮草 (157)

入江新八　守田早苗 畫

櫻咲く頃（四）

道代はうつとりとしてゐた。製作の疲勞が身體の心にまで喰ひ込んでゐた。此れ迄いろ／＼の勞働的な働きや仕事をしたけれども、今度のやうに心の臓から疲勞を感じたことは無いと思つた。矢張り腦力を勞することよりも、腦力を強く勞することは、本當に身體の心底から疲れるものであることを彼女は知つた。けれどもその疲れの氣分は腦力を勞した時のやうに肉體の上の苦痛がなくて、ゆつたりと氣だるさを感ずる位だつた。それで、却て快よいものであつた。何となく身を横にしたく、眠りたかつた。

うと／＼と轉寢がしたくなつた。さうした氣分を道代は製作の後に味ふことが近頃度々だつたが、今日はそれが一層強く迫つて來た。斯ういふ時に、身體を横にしてしまへば、直に眠りに落ちるであらう……けれども彼女はそれを耐へてゐた。その眠たさを耐へてゐる氣持ちは半分は不快で、半分は快よいものであつた。

自分が、自分の作つてゐる物語の中の主人公にも、また何でもない一人の端役にもなつたりした。道代の今書いてゐる物語の主人公の名は京子といふのだつた。京子は彼女自身の權化のやうなところもあつた。全くさうでない所もあつた。一面非常におてんばで一面時には沈んだ女だつた。さうした矛盾した性格が彼女の境遇と一緒になつて京城を去つて行くまでの經路は道代の想像ではあつたが、彼女自身が東京へ出る迄の心持ちに能く似てゐた。道代は突然東京へ出て來たのだけれども京子は自分を棄てゝ大連へ行つた男の後を追つかけて行つたのだ。その國を去つた時候が丁度今日のやうな春の日で、花がちら／＼と散つてゐた。故郷の花を見るのも、もうこれが見納めだらう……滿洲へ行つて、もし、男に逢ふことが出來なければ再び故郷へは歸つて來ない……多分男は自分を棄てゝ、他の好きな女と手を取つて逃げて行つてしまつたの故、よし、また逢ふことが出來ても元のやうな樂しい思ひを一日でも一喚でもすることは出來ないだらう。その戀仇のキット眼を搔かされて、その戀仇の女からも侮辱されて、自分は追つ拂はれてしまふだらう。さうなれば、何方にしても、もう再び京城へは歸らない……二度と朝鮮の土は踏まない……自分は鴨綠江の水に身を投げて死んでしまふ……さうして自分の魂は何時迄もその流れの底に沈んでゐて、他日あの男と女とが再び鴨綠江を渡る時に、わたしは蛇身となつて二人を水底に引ずりこんでやる。丁度清姫が安珍をとり殺したやうに、それよりも、もつとひどい目に逢はしてやる……そんなことを思ひ乍ら、京子は泣く／＼故郷を出て行つた。……

さういふ一つの戀のローマンスを彼女は一生懸命に書いた。その文章はまだインキの色が生々しく、その後から後からと書いた原稿紙の下に重なつてゐる。道代は指先で紙を繰つてその所を出して讀んでゐた。

道代は、自分ながら大變旨く書けてゐるやうに思つた。春の氣分がよく出てゐて、如何にも斯ういふ女が戀人を去る時の目にふさはしい場面だつた。チラ／＼と花の散る風情が目に見えるやうだと思つた。實際櫻の花の散る風情は懷かしく悲しいものだと思ひながら、眼をあげて彼女は櫻の花の薄紅いに、空の青を彩した花を見てゐると、まるで彼女の心に描いたものと同じ風情が眼の前にあらはれて來て、花はチラ／＼と散つてゐるのであつた。道代はうつとりと眺め入りながら、うつら／＼とした……と、飛鳥山行きの花見の客か何かと思はれる醉つぱらひのトン興な聲が表の通りの方に聞えた。道代は不圖うつら／＼した眼を開いた。

人參王丸　京城本町貳・電話一四八〇番　一八七〇番　ツ津村兄弟商會

名花の雲　トキワ讀賣　明治屋　發賣元

流寒風熱ニ一番ヨクキク複方ピラミドン　販賣店各地藥店ニアリ　京城元町二ノ八八　本舗 林藥房

土曜會句集（一二、一四）

初場所　一葉 選

○初場所の太鼓に明けて江戸の町　聽平
○初場所に仕立おろしの法被かな　紫水
○初場所や去年より叔父の宿り居る　鶴仙
○水垢離の女房初場所の觸れ太鼓　淺子
○露大路初場所に急ぐ力士かな　潮花
○初場所や杓に附いたる薄氷　綠
○初場所に寮平の四股の響きかな
○初場所や髷太鼓に霽かゝる

川柳　劍花坊 撰

友

○見たさうな友顏と行き合ふ仰の町　群馬 霜仙
○歸郷して乘つた車は古い友　仁川 吐焰
○親友と僞する友に金が無し　仁川 右大臣
○妹のしたくを友は門で待ち　京城 寶六
○君枠の友總代は從何位　仁川 初吟生
○友達にかくしてそつと嫁をとり　平南 清川江
○惡友が出來るとわかる酒の味　京城 俊子
○女房に話せぬ事を友に言ひ　九里面 黑頭
○あの人も嫁に行つてよと話し
○友達の爲めに又食ふ具い飯　寧邊 貞久
○友達は世にときぬきて猶り貧
○親友といふ友達に疑はれ

○　本町 沈澱子
友達が來るので亭主追ひ出され
學校時代の友達に湯屋で逢ひ

川柳募集

課題　「男盛り」「足袋」
撰者　井上劍花坊先生
賞金　天位寄圖
締切　一月二十五日
注意　各題一人五句、用紙は葉書、宛名は京城日報社文藝係

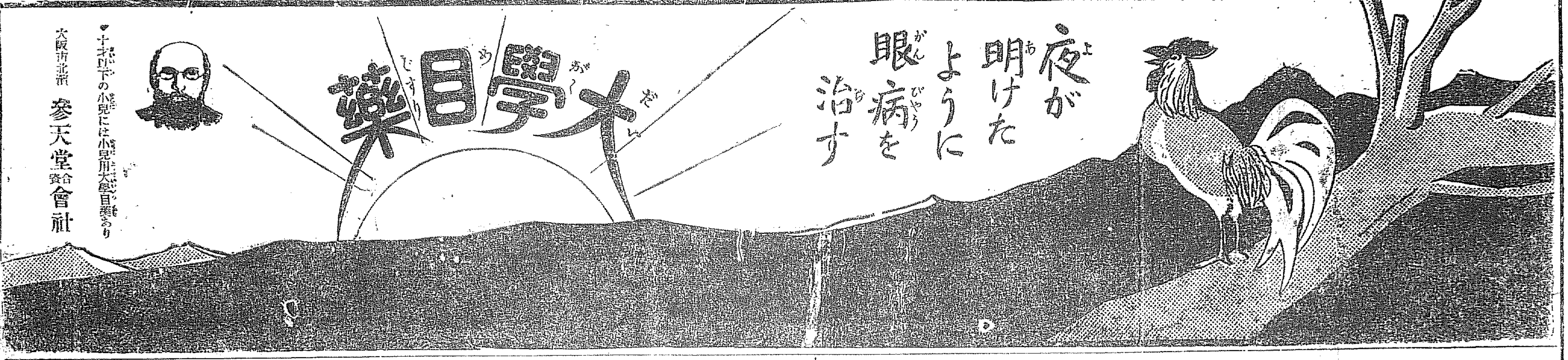
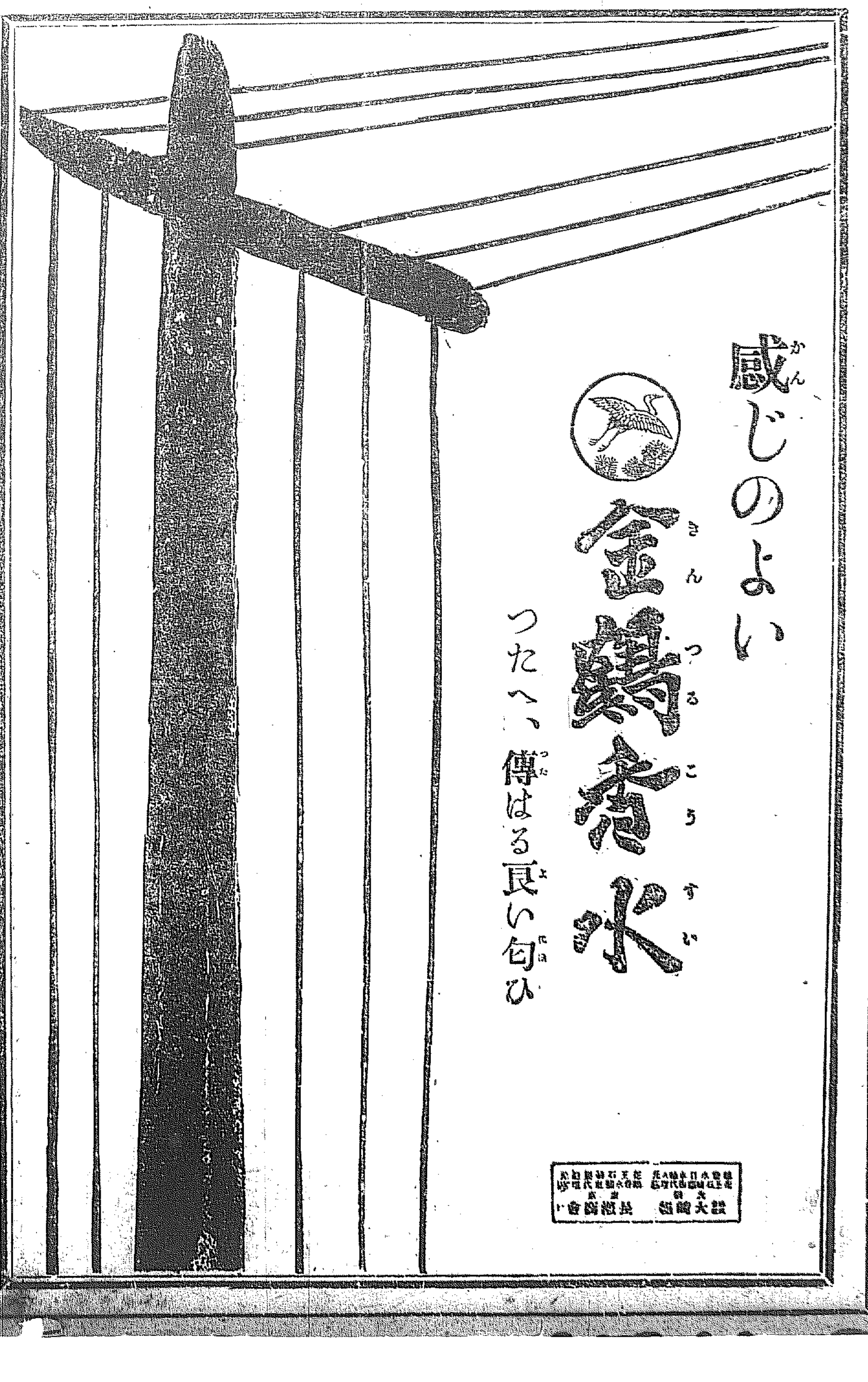
天下一品　京染　にや　京城本町三

新刊紹介

▲娛樂世界（二月號）諸國怪談奇談ぞろひ、と題し本文三百頁內容は充實して居る（發行所東京某社價六十錢）
▲朝鮮及滿洲（一月號）京城南山町一ノ一四某社價五十錢
▲社友（一月號）京城新龍山滿鐵京城管理局社友會
▲株式會社資本調（十年十二月末調查）日本興業銀行調查部
▲電氣旬報（一月中旬號）大阪北區若松町二六電界社
▲南大門（十年十一月號）京城龍山漢江通一一六朝鮮川柳會非賣品
▲朝鮮經濟資料（一月號）京城大和町一ノ三九朝鮮中央經濟會
▲新國民（一月號）東京神田駿河臺袋町一六大日本國民中學會價十五錢
▲黑白（一月號）東京京橋築地三ノ一五某發行所價十五錢
▲赤土（一月號）京城櫻井町一ノ八某社特價五十錢
▲松の實（一月號）京城龍山元町二ノ五二某吟社價二十五錢
▲大阪銀行通信錄（十二月號）大阪東區北濱二ノ二七大阪銀行集會所價五十錢
▲みとりの友（一月號）東京芝南佐久間町二ノ一四某發行所價二十五錢

染物洗張師 清水堂　京城府漢江通三電話七五四番

▲近時我朝鮮野球界の一流チーム（滿鐵を除く）は二流チームの二三のチームよりも却て弱き感がある。體育協會に於て一流チームの改革を要す。昔より一流チームなる故を以て何時までも一流に止めおくは面白からず殊に京俱スタンダードに於ておやである（一ファン）▲龍山練兵場附近で夜間バイオリンを御敎授下さる方はありませんでせうか（エム生）▲十五日京城俱樂部で催された謡曲流謡曲會を拜聽すべく會場に行つたのに會員外の者の入場を許さないと斷られた此種の會合が一時的娛樂でない限りは斯道の向上普及の爲め開放されては如何敢て幹事の一考を煩はす（山櫻生）▲秋風會經營所は黃金町一丁目一七七鈴木家邊松の湯の階上で幹事は中村と申します入會隨意ですから是非お出で下さい（秋風會）▲實習謡曲謡鑑・號より今迄まで全部三冊五十錢にてお讓りしたし希望の方は下記へ（電話一四六二番）▲十五日附本欄依賴生へ、學生にして身元確かなれば面談の上お世話致しませう（青葉町二丁目三三浦田）▲支那料理店谷齋の方は下記へ（敦義洞六〇ケイ生）

犬馬牛豚　小川獸畜醫院　京城明治町一丁目　取次電話三三五番

胃腸新藥　タカヂアスターゼ
胃腸病治療上必要缺く可からざる強力消化劑として多數醫家の賞用を博しつゝある高峰博士發見の本劑は其品質に、其効力に、常に多種類似品の追從を許さず、これ多年の定評なり。
內外醫家の實驗報告集あり無代進呈す。
粉末錠劑の各種あり全國有名藥舖にて販賣す。
東京日本橋室町　三共株式會社　出張所 大阪淡路町堺筋　臺北市府後街